

テレビが構築する社会的出来事・ 音楽番組・アイドルの集合的記憶

——ウェブ・モニター調査（2011年2月）の報告(3)——

小城英子・萩原 滋・渋谷明子
志岐裕子・李 光鎬・上瀬由美子



▶ 問 題

集合的記憶とテレビ

自伝的記憶とは、具体的な体験に関するエピソード記憶も含めて、過去の自己に関わる情報の記憶を指しており（佐藤，2008），新しい記憶，特に最近10年間の記憶ほどよく想起される（新近性効果；O'Connor, Sieggreen, Bachna, Kaplan, Cermak, & Ransil, 2000）一方，10～30代の出来事の記憶が多い（バンブ；Rubin, Wetzler, & Nebes, 1986）という特徴がある。また，集団や社会全体に共有されている記憶のことを集合的記憶といい，一部の集合的記憶は，自伝的記憶とも関わりを持っている。

小城・萩原・村山・大坪・渋谷・志岐（2010）は，マス・メディアが提供したコンテンツにおいてもバンブが認められると同時に，テレビが後世においても繰り返し映像を提示することが，若年層に対しても古い出来事の疑似的な体験をもたらし，世代を超えて社会的に共有される集合的記憶を構築することを指摘している。

小城ほか（2010）の研究は，国内外のテレビ番組，有名人，社会的出来事を包括的に扱っているが，国内の出来事や人物は相対的に関与が高いことから，外国の出来事や人物に比べて認知数も記憶量も多いと考えられる。それを受けて，小城・萩原・テー・上瀬・李・渋谷（2011）では，マス・メディアが提示する外国に主軸を置き，テレビ番組と社会的出来事の記憶について，年代の比較を中心に分析している。その結果，第1に，自身が若年のときに，リアルタイムで体験した番組や社会的出来事の想起量や情緒的関与が高いこと（バンブ），第2に，社会的出来事においては，災害や事故，スポーツ・イベントよりも，戦争・テロや要人の暗殺・処刑のように，その出来事自体の国際的・政治的インパクトが強く，後世にまで影響が及ぶもので，かつ，衝突や殺害の瞬間など，その出来事を象徴するような決定的な映像が現存している場合に，バンブや新近性効果をを超えて，すべての世代に集合的記憶が構築されること，第3に，テレビコンテンツそのものである番組の認知には，子どものころのテレビ熱中度やテレビ視聴制限との関連が見られたが，社会的出来事には関連が見られなかったことが明らかにされている。社会的出来事の記憶においては，リアルタイムで体験した当時のテレビの視聴度に関係なく，映像の衝撃度や，その出来事に関してパーソナル・ネットワークで共有した体験が集合的記憶を構築している可能性がある。また，それぞれが育ってきた時代背景を反映している側面（世代差）と，人格の発

達・成熟とともに変化していく側面（年代差）が混在しているために、年代やテレビへの関与度と、集合的記憶の関連が複雑で、単純な因果関係を見出せないことも指摘されている（小城ほか，2011）。

スター・アイドルと集合的記憶

1950～1970年は、見物・鑑賞的テレビ視聴が中心であり、テレビが視聴者に向けて一方的に番組提供をしていたのに対して、テレビが一般家庭に普及し、テレビの視聴時間が60年代に比べて3～4倍に増加した1980年代は、視聴者が提供される番組に対して積極的に関与する能動的テレビ視聴へ、さらに、1990年代に入ると、テレビが視聴者に対して仕掛け、視聴者がそれに乗るという相互作用的テレビ視聴へと変化してきた（南・辻，2008）。

時代を代表するスター・アイドルは、このようなテレビ視聴形態の変遷を反映している。テレビ放送が開始される前は、舞台や映画を中心に、美空ひばり、石原裕次郎、吉永小百合などのスター・アイドルが人気を博したが、テレビが全盛期となった1975年にオーディション番組「スター誕生」の放送が開始されると、素人がスター・アイドルへと成長していく過程を視聴者が一緒に楽しみ、「テレビ」によってスター・アイドルが作られるようになった（小川・小田原・粟屋・小泉・葉口・増田，2005；小川，1993；藤井・高橋，1991）。

また、1970年代後半から1980年代にかけては、「ザ・ベストテン」（TBS系）、「歌のトップテン」（日本テレビ系）といった音楽ランキング番組や、ランキング形式ではないものの、ヒット曲を扱う「夜のヒットスタジオ／夜のヒットデラックス」（共にフジテレビ系）など、音楽番組が全盛期を迎える（小川，2005）。当時のスター・アイドルは、歌唱力にかかわらず楽曲をリリースすることで、音楽番組を中心とするマス・メディアへの露出を増やし、人気を保っていた。これらのことから、アイドルとは「歌手ではなく、歌唱というパフォーマンスを通じてキャラクターを提示する職業」（小川，1988）と定義されている。この時代が、テレビ全盛期と同時にアイドル全盛期といわれている。また、この時期に思春期・青年期を迎えていた世代（現在の30～40代）は、団塊ジュニアが含まれていて人口が多い上に、テレビに対して強い愛着を抱いており、テレビによって共有された集合的記憶を豊富に持っているという特徴がある（小城・萩原・村山・大坪・渋谷・志岐，2009）。

1990年代に入ると、1980年代の全盛期を支えた「ザ・ベストテン」、「ザ・トップテン」、「夜のヒットスタジオ」といった音楽番組の終焉を迎え、アイドルは活動の場を失って冬の時代に突入する（小川ほか，2005）。代わって台頭してきたのは、「HEY!HEY!HEY!」（フジテレビ系，1994年～）、「うたばん」（TBS系，1996年～）、「速報！歌の大辞テン!!」（日本テレビ系，1996～2005年）といった音楽番組である。1970～1980年代の音楽番組が、楽曲の紹介をメインに据え、音楽報道番組としての性格を持っていたのに対して、90年代の音楽番組は、お笑いタレントが司会を務め、楽曲の紹介以上に、ゲストのミュージシャンのトークや司会との掛け合いのウエイトが大きいなど、バラエティ番組の要素が強くなったことが特徴である。この時代に思春期・青年期を迎えていた世代（現在の10～20代）は、テレビゲームやインターネットなど、メディア環境の多様化によってテレビへの関与が薄く、スター・アイドルもまた、多様化しているという特徴がある。

時間的展望と集合的記憶

集合的記憶は、「記憶」である以上、想起される時点での心理状態に影響される。本報告では、想起される時点のアイデンティティの状態に着目する。青年期に第二次性徴やモラトリアムを経て、いったんアイデンティティが確立されるが、中年期に入ると、身体の衰えなどの身体感覚の変化や子どもの自立などとともに、自分の半生への問い直しなどアイデンティティの再確立が行われる。最後に老年期になると、リタイアによる生活環境の変化など自己内外の変化の認識によって自分の人生を見つめ直し、アイデンティティを再確立する（岡本，2002）。中年期以降のアイデンティティの状態は、健康状態、経済状態、

サポート・ネットワークの有無などにより、個人差が大きくなる。

本報告では、アイデンティティを測定する指標に時間的展望を取り上げる。時間的展望とは、「ある一定の時点における個人の心理的過去および未来についての見解の総体」(Lewin, 1951)と定義され、個人が自己の過去や未来にどのようなことを想起、あるいは予想するかという認知的側面と、個人が自己の過去や未来に対してどのような感情を持っているかという情緒的側面の2つが含まれる(都筑, 1982)。どの年代においても、過去を受容し、現在から未来へ向かって生きていくことは、精神的健康に直結しているが、高齢者においては、将来展望は狭まり、過去志向が強くなることが指摘されている(都築・白井, 2007)。

目 的

以上のことを踏まえて、本報告では以下の2点を目的とする。第1に、社会的出来事と、スター・アイドルの集合的記憶について、時間的展望との関連を分析する。第2に、社会的出来事の集合的記憶について、世代差と年代差を分離し、時間の経過による変化を検証するために、2009年度のウェブ調査データと比較する。

▶ 方 法

2011年2月に、関東、関西、東北、中四国の4地域に住む10代～60歳以上の男女1,600名を対象にウェブ調査を行った。詳細については、志岐・李・小城・上瀬・萩原・渋谷(2012)を参照されたい。

本報告で分析に用いた尺度は、国内外の社会的出来事30項目の記憶(「覚えていない」、「覚えている」、「ぼんやり覚えている」の3件法)、スター・アイドル32名の記憶(「知らない」、「嫌い」、「どちらかといえば嫌い」、「どちらともいえない」、「どちらかといえば好き」、「好き」の6件法)、音楽番組15番組の記憶(「知らない／覚えていない」、「ほとんど見ていなかった」、「ときどき見ていた」、「よく見ていた」の4件法)、時間的展望尺度(白井, 1994の尺度を一部抜粋して表現を修正)8項目4件法(「まったくあてはまらない」～「よくあてはまる」)である。

▶ 結果と考察

社会的出来事の集合的記憶

1) 年代別・性別の認知率

社会的出来事30項目について、年代別・性別の認知率(「覚えている」と「ぼんやり覚えている」を合計)を算出した(表1-1～1-2)。認知率が80%を超えたところに網掛けしてある。一見して、男女とも50～60代の高年層はどの社会的出来事についても認知率が高いが、年齢が下がるに従って、過去の社会的出来事の認知率が低下する傾向が認められる。どの年代にも認知率が低く、出来事の新近性や年代による差がないと見られるのは「サイゴン陥落、ベトナム戦争終結」、「韓国朴正熙大統領暗殺事件」、「ペルー日本大使公邸事件」、「新潟少女監禁事件」、「イラク武装勢力による日本人質事件」であった。主に外国の政治に関わる出来事で、日本に直接的な影響が小さかったり、終息まで短期間であったり、象徴的な映像がなく、後世において繰り返し参照されることが少ないという特徴がある。また、小城ほか(2011)の考察に倣えば、これらの社会的出来事は、国内の出来事や、外国のスポーツ・イベントと異なり、リアルタイムで体験したときに、たとえば「発生の瞬間、家族と一緒にテレビを見ていた」、「自分自身が被災した」といった自伝的記憶と結びつきにくく、また、その出来事についてパーソナル・ネットワークで共有し、集合的記憶を強化する機会が少なかったと考えられる。

●表 1-1 社会的出来事の認知率(男性) (%)

	10代	20代	30代	40代	50代	60代
皇太子(現天皇・皇后)ご成婚パレード(1959年)	14.4	24.2	38.2	40.4	51.5	93.2
ケネディ大統領暗殺事件(1963年)	32.6	45.5	57.4	44.1	78.8	97.0
東京オリンピック(1964年)	26.5	37.1	51.5	41.9	86.4	97.7
アポロ11号月面着陸(1969年)	31.8	42.4	53.7	58.8	93.9	97.0
連合赤軍あさま山荘事件(1972年)	22.7	43.9	55.1	66.9	95.5	97.7
サイゴン陥落、ベトナム戦争終結(1975年)	9.1	12.9	18.4	22.8	47.0	72.0
ロッキード事件国会証人喚問(1976年)	9.8	18.2	25.0	57.4	80.3	87.9
韓国朴正熙大統領暗殺事件(1979年)	7.6	5.3	14.7	24.3	43.9	61.4
大韓航空機爆発事件(1983年)	12.1	24.2	53.7	87.5	87.9	85.6
グリコ社長誘拐事件(1984年)	10.6	16.7	61.8	89.0	92.4	82.6
日航ジャンボ機(御巣鷹山)墜落事故(1985年)	22.0	39.4	76.5	97.1	97.0	97.7
米スペースシャトル(チャレンジャー)爆発事故(1986年)	17.4	31.8	75.0	94.1	88.6	93.9
リクルート事件(1988年)	10.6	22.7	69.1	89.7	87.9	90.2
昭和天皇崩御・大葬の礼(1989年)	11.4	20.5	72.1	88.2	87.9	92.4
中国・天安門事件(1989年)	15.9	29.5	66.2	87.5	83.3	89.4
埼玉・連続幼女誘拐殺人(宮崎勤)事件(1989年)	12.9	32.6	76.5	91.2	86.4	80.3
イラクのクェート侵攻、湾岸戦争(1991年)	11.4	45.5	84.6	94.9	93.2	92.4
皇太子ご成婚(雅子妃)パレード(1993年)	15.2	43.9	75.0	89.0	79.5	88.6
阪神・淡路大震災(1995年)	43.9	90.2	92.6	98.5	98.5	99.2
オウム真理教・地下鉄サリン事件(1995年)	43.9	92.4	91.9	98.5	98.5	99.2
ペルー日本大使公邸事件(1996年)	9.8	47.0	64.0	77.2	77.3	89.4
神戸児童連続殺傷(酒鬼薔薇聖斗)事件(1997年)	18.2	76.5	84.6	95.6	90.9	89.4
和歌山毒物カレー(林真須美)事件(1998年)	44.7	89.4	92.6	97.8	97.7	97.0
新潟少女監禁事件(2000年)	15.9	36.4	55.9	68.4	61.4	63.6
米国同時多発テロ事件(2001年)	66.7	88.6	94.1	98.5	99.2	97.7
日韓共催サッカーワールドカップ(2002年)	54.5	83.3	86.8	91.9	85.6	88.6
イラク武装勢力による日本人質事件(2004年)	42.4	64.4	69.9	71.3	74.2	83.3
JR福知山線脱線事故(2005年)	67.4	90.9	91.2	97.8	95.5	97.0
秋田連続児童殺人(畠山鈴香)事件(2006年)	52.3	70.5	84.6	91.2	81.8	87.1
秋葉原通り魔事件(2008年)	90.2	90.9	91.9	99.3	97.0	96.2

●表 1-2 社会的出来事の認知率(女性) (%)

	10代	20代	30代	40代	50代	60代
皇太子(現天皇・皇后)ご成婚パレード(1959年)	8.3	34.1	45.6	52.9	62.1	95.5
ケネディ大統領暗殺事件(1963年)	25.8	43.2	49.3	54.4	73.5	97.7
東京オリンピック(1964年)	24.2	36.4	34.6	42.6	80.3	98.5
アポロ11号月面着陸(1969年)	32.6	50.0	46.3	60.3	93.2	94.7
連合赤軍あさま山荘事件(1972年)	14.4	40.2	45.6	69.1	97.7	97.0
サイゴン陥落、ベトナム戦争終結(1975年)	7.6	6.8	8.8	19.9	40.2	57.6
ロッキード事件国会証人喚問(1976年)	4.5	7.6	18.4	55.1	78.0	84.1
韓国朴正熙大統領暗殺事件(1979年)	2.3	5.3	5.1	16.2	29.5	44.7
大韓航空機爆発事件(1983年)	6.8	26.5	52.2	83.8	93.2	94.7
グリコ社長誘拐事件(1984年)	5.3	10.6	50.7	90.4	94.7	89.4
日航ジャンボ機(御巣鷹山)墜落事故(1985年)	17.4	40.9	77.9	97.8	99.2	99.2
米スペースシャトル(チャレンジャー)爆発事故(1986年)	6.1	18.2	54.4	83.1	89.4	86.4
リクルート事件(1988年)	3.8	9.1	49.3	78.7	84.1	89.4
昭和天皇崩御・大葬の礼(1989年)	5.3	15.2	57.4	90.4	93.2	97.0
中国・天安門事件(1989年)	9.1	13.6	48.5	73.5	78.8	87.1
埼玉・連続幼女誘拐殺人(宮崎勤)事件(1989年)	9.1	26.5	78.7	93.4	93.2	93.9
イラクのクェート侵攻、湾岸戦争(1991年)	10.6	35.6	69.1	82.4	84.8	92.4
皇太子ご成婚(雅子妃)パレード(1993年)	12.1	64.4	87.5	97.1	97.7	99.2
阪神・淡路大震災(1995年)	48.5	92.4	98.5	99.3	98.5	100.0
オウム真理教・地下鉄サリン事件(1995年)	54.5	92.4	97.1	98.5	98.5	100.0
ペルー日本大使公邸事件(1996年)	4.5	29.5	47.8	76.5	80.3	79.5
神戸児童連続殺傷(酒鬼薔薇聖斗)事件(1997年)	22.0	84.8	94.1	96.3	97.0	99.2
和歌山毒物カレー(林真須美)事件(1998年)	54.5	94.7	97.8	97.8	100.0	100.0
新潟少女監禁事件(2000年)	13.6	33.3	52.9	78.7	85.6	80.3
米国同時多発テロ事件(2001年)	67.4	94.7	94.1	95.6	97.0	97.7
日韓共催サッカーワールドカップ(2002年)	54.5	80.3	80.9	83.1	81.1	89.4
イラク武装勢力による日本人質事件(2004年)	40.9	68.2	72.1	76.5	78.0	84.8
JR福知山線脱線事故(2005年)	73.5	91.7	94.9	97.1	97.7	98.5
秋田連続児童殺人(畠山鈴香)事件(2006年)	62.9	77.3	87.5	90.4	90.2	93.9
秋葉原通り魔事件(2008年)	93.9	96.2	97.1	97.1	97.7	100.0

2) 2009年との比較

認知率の経年変化を確認するために、2009年のウェブ調査（小城ほか，2010）と同一の社会的出来事の項目について比較を行った。なお，2011年調査のサンプルについては，2009年当時の年齢を算出し，2009年と同一の年代カテゴリに割り振り直した。したがって，パネルデータではないものの，同一年代の中で認知率の経年変化を比較することができる（表2-1～2-2）。

●表2-1 社会的出来事認知率の時系列比較（男性）

		10代	20代	30代	40代	50代	60代
皇太子（現天皇・皇后）ご成婚パレード（1959）	2009	11.4	30.3	30.9	45.6	64.4	94.7
	2011	14.5	28.4	37.8 △	38.2 ▼	62.6	95.8
東京オリンピック（1964）	2009	23.5	51.5	38.2	52.9	97.0	97.7
	2011	27.5	39.0 ▼	48.6 △	44.3 ▼	94.6	96.8
アポロ11号月面着陸（1969）	2009	27.3 △	56.1	41.9	69.9	92.4	91.7
	2011	33.3	43.3 ▼	50.7 △	69.5	93.9	96.8 △
連合赤軍あさま山荘事件（1972）	2009	14.4 △	48.5	44.9	75.0	96.2	94.7
	2011	23.9	45.4	52.7 △	75.6	97.3	96.8
ロッキード事件国会証人喚問（1976）	2009	6.1	22.7	28.7	73.5	86.4	89.4
	2011	10.9	18.4	25.0	66.4 ▼	81.0 ▼	91.6
大韓航空機爆発事件（1983）	2009	9.1	31.8	66.9	85.3	90.9	88.6
	2011	13.0	27.0	57.4 ▼	90.8 △	87.1	85.3
グリオ社長誘拐事件（1984）	2009	5.3 △	28.0	67.6	89.0	86.4	82.6
	2011	10.9	18.4 ▼	68.9	91.6	87.8	84.2
日航ジャンボ機（御巣鷹山）墜落事故（1985）	2009	13.6 △	45.5	78.7	94.1	93.2	93.2
	2011	22.5	41.8	81.1	97.7	98.0	96.8
米スペースシャトル（チャレンジャー）爆発事故（1986）	2009	11.4 △	36.4	77.2	87.5	93.2	84.1
	2011	18.1	34.8	79.7	94.7 △	88.4	94.7 △
リクルート事件（1988）	2009	8.3	31.1	72.1	89.0	83.3	83.3
	2011	10.1	27.7	73.0	91.6	87.8	89.5 △
昭和天皇崩御・大葬の礼（1989）	2009	6.1	34.1	76.5	89.0	94.7	92.4
	2011	10.9	27.0 ▼	73.0	90.1	89.8	91.6
中国・天安門事件（1989）	2009	9.1 △	43.9	75.0	84.6	86.4	83.3
	2011	17.4	31.9 ▼	69.6 ▼	88.5	83.7	90.5 △
埼玉・連続幼女誘拐殺人（宮崎勤）事件（1989）	2009	9.1	36.4	70.6	80.1	84.8	81.1
	2011	13.0	38.3	77.7 △	93.1 △	83.0	81.1
イラクのクェート侵攻，湾岸戦争（1991）	2009	14.4	53.8	80.1	89.7	89.4	89.4
	2011	13.0	50.4	85.8 △	94.7 △	91.8	93.7
皇太子ご成婚（雅子妃）パレード（1993）	2009	9.8 △	59.8 -	75.0	86.0	92.4	90.2
	2011	15.9	48.2 ▼	76.4	87.0	81.0 ▼	91.6
阪神・淡路大震災（1995）	2009	45.5	90.2	88.2	96.3	94.7	97.0
	2011	45.7	90.8	93.9 △	98.5	98.6	98.9
オウム真理教・地下鉄サリン事件（1995）	2009	34.1 △	88.6	89.7	94.9	97.0	95.5
	2011	46.4	92.2	93.2	98.5	98.6	98.9
ペルー日本大使公邸事件（1996）	2009	6.1	57.6	69.1	80.9	84.1	87.9
	2011	10.1	51.8 ▼	64.2	77.1	78.9 ▼	92.6
神戸児童連続殺傷（酒鬼薔薇聖斗）事件（1997）	2009	20.5	78.8	86.0	91.2	87.9	82.6
	2011	18.8	80.1	85.1	96.2 △	88.4	91.6 △
和歌山毒物カレー（林真須美）事件（1998）	2009	50.8	86.4	91.2	94.9	93.2	96.2
	2011	46.4	90.1	93.2	98.5	97.3	96.8
新潟少女監禁事件（2000）	2009	18.2	47.7	58.1	71.3	66.7	62.9
	2011	17.4	39.0 ▼	54.7	70.2	58.5 ▼	68.4 △
米国同時多発テロ事件（2001）	2009	56.8 △	87.1	84.6	91.9	93.2	90.9
	2011	67.4	89.4	95.3 △	98.5 △	98.0	98.9 △
日韓共催サッカーワールドカップ（2002）	2009	59.8	82.6	86.8	88.2	85.6	85.6
	2011	56.5	83.7	87.2	91.6	84.4	90.5
イラク武装勢力による日本人質事件（2004）	2009	47.0	72.0	70.6	71.3	75.0	71.2
	2011	43.5	66.0 ▼	68.2	72.5	76.2	84.2 △
JR 福知山線脱線事故（2005）	2009	45.5 △	85.6	89.7	93.4	93.2	93.9
	2011	68.1	91.5 △	91.9	97.7	95.9	96.8
秋田連続児童殺人（畠山鈴香）事件（2006）	2009	37.9 △	77.3	80.9	86.0	84.8	86.4
	2011	52.9	73.0	84.5	89.3	83.7	87.4
秋葉原通り魔事件（2008）	2009	82.6	90.2	89.7	89.7	93.2	93.2
	2011	90.6	91.5	92.6	98.5 △	96.6	96.8



●表 2-2 社会的出来事認知率の時系列比較 (女性)

		10代	20代	30代	40代	50代	60代
皇太子(現天皇・皇后)ご成婚パレード(1959)	2009	9.8	34.1	46.3	72.1 ▼	79.5	93.2
	2011	10.3	33.3	48.7	52.4	75.4	98.8
東京オリンピック(1964)	2009	18.9 △	35.6	45.6 ▼	68.4 ▼	92.4	93.2
	2011	25.5	33.3	36.8	46.9	95.5	98.8
アポロ11号月面着陸(1969)	2009	25.0 △	43.2	50.0	73.5	90.9	84.1 △
	2011	34.5	47.1	48.7	71.0	93.3	97.7
連合赤軍あさま山荘事件(1972)	2009	7.6 △	37.9	46.3	78.7	93.2 △	91.7 △
	2011	16.6	39.9	48.0	80.0	98.5	97.7
ロッキード事件国会証人喚問(1976)	2009	1.5	13.6 ▼	23.5	69.1	84.8 ▼	81.1 △
	2011	4.8	5.8	21.1	71.0	78.4	86.0
大韓航空機爆発事件(1983)	2009	3.8	21.2 △	63.2	86.0	90.2	87.9 △
	2011	6.9	27.5	61.8	86.9	92.5	97.7
グリコ社長誘拐事件(1984)	2009	1.5	22.7 ▼	59.6	88.2	86.4 △	81.1 △
	2011	5.5	11.6	63.8	92.4	92.5	88.4
日航ジャンボ機(御巣鷹山)墜落事故(1985)	2009	9.1 △	38.6	75.0 △	91.2 △	93.2 △	93.2 △
	2011	18.6	42.0	86.8	97.9	98.5	100.0
米スペースシャトル(チャレンジャー)爆発事故(1986)	2009	3.0	14.4	47.8 △	83.1	85.6	78.8 △
	2011	6.2	18.8	64.5	85.5	88.8	86.0
リクルート事件(1988)	2009	0.8	19.7 ▼	56.6	78.7	84.1	85.6
	2011	4.8	8.7	57.9	82.1	88.1	88.4
昭和天皇崩御・大葬の礼(1989)	2009	4.5	23.5 ▼	71.3 ▼	89.7	89.4 △	90.2 △
	2011	4.8	20.3	63.8	93.1	94.8	97.7
中国・天安門事件(1989)	2009	5.3 △	23.5 ▼	56.6	76.5	81.1	71.2 △
	2011	11.0	11.6	55.9	78.6	79.9	89.5
埼玉・連続幼女誘拐殺人(宮崎勤)事件(1989)	2009	4.5 △	34.1	71.3 △	86.0 △	85.6 △	82.6 △
	2011	9.7	32.6	82.2	92.4	96.3	93.0
イラクのクェート侵攻, 湾岸戦争(1991)	2009	5.3 △	37.9	61.8 △	77.2 △	81.1 △	81.1 △
	2011	11.0	39.9	72.4	84.1	88.1	91.9
皇太子ご成婚(雅子妃)パレード(1993)	2009	15.9	73.5	86.8	94.9	89.4 △	93.9 △
	2011	14.5	68.8	89.5	97.9	97.8	100.0
阪神・淡路大震災(1995)	2009	54.5	85.6 △	91.9 △	97.8	93.9 △	93.2 △
	2011	51.7	93.5	98.7	98.6	99.3	100.0
オウム真理教・地下鉄サリン事件(1995)	2009	51.5 △	87.1 △	89.7 △	96.3	93.2 △	91.7 △
	2011	56.6	94.2	96.7	98.6	99.3	100.0
ペルー日本大使公邸事件(1996)	2009	3.0	34.8	49.3	72.8 △	77.3 △	69.7 △
	2011	6.2	31.9	51.3	80.0	82.8	77.9
神戸児童連続殺傷(酒鬼薔薇聖斗)事件(1997)	2009	22.0	80.3 △	86.0 △	94.9	90.2	85.6 △
	2011	23.4	89.9	94.7	96.6	97.0	100.0
和歌山毒物カレー(林真須美)事件(1998)	2009	62.9 ▼	88.6 △	91.9	95.6	91.7 △	90.9 △
	2011	56.6	96.4	98.0	97.9	100.0	100.0
新潟少女監禁事件(2000)	2009	18.2	45.5 ▼	59.6	76.5 △	81.1	69.7 △
	2011	14.5	31.9	58.6	85.5	85.1	77.9
米国同時多発テロ事件(2001)	2009	64.4	78.0 △	76.5 △	90.4	90.2 △	84.8 △
	2011	69.0	95.7	94.1	95.2	97.0	98.8
日韓共催サッカーワールドカップ(2002)	2009	47.0 △	75.8	65.4 △	75.7 △	78.8	77.3 △
	2011	57.2	79.0	78.9	86.2	82.8	89.5
イラク武装勢力による日本人人質事件(2004)	2009	44.7	55.3 △	56.6 △	69.1 △	75.0	73.5 △
	2011	44.1	65.2	71.7	80.0	79.1	87.2
JR福知山線脱線事故(2005)	2009	43.9 △	84.1 △	87.5 △	92.6	90.9 △	89.4 △
	2011	75.2	92.0	94.1	97.2	97.8	100.0
秋田連続児童殺人(畠山鈴香)事件(2006)	2009	43.2 △	81.1	82.4	94.1	88.6	83.3 △
	2011	64.1	78.3	86.2	91.0	92.5	94.2
秋葉原通り魔事件(2008)	2009	89.4	93.2	91.9	98.5	91.7 △	87.1 △
	2011	93.8	95.7	96.1	99.3	97.8	100.0



男女とも10代において、「米同時多発テロ事件」、「JR福知山線脱線事故」、「秋田連続児童殺人事件」などの最近の社会的出来事だけでなく、「アポロ11号月面着陸」「連合赤軍あさま山荘事件」、「日航ジャンボ機墜落事故」といった昔の社会的出来事の認知率が、2年を経て上昇していることが特徴である。このことは、成長とともに社会に対する関心が高まり、自身が生まれる前の出来事であっても、テレビの映像などを通じて学習するこ

とを示唆している。すなわち、10代の社会的出来事に対する認知率の低さは、小城ほか(2011)の指摘する「年代差」であると考えられる。

一方、20代においては、特に男性で認知率が低下する社会的出来事がいくつか見られる。「昭和天皇崩御・大喪の礼」や「皇太子ご成婚(雅子妃)パレード」といった皇室の出来事、「中国天安門事件」、「ペルー公邸大使人質事件」、「イラク武装勢力による日本人質事件」などの外国の事件、「東京オリンピック」、「アポロ11号月面着陸」といった1960年代の出来事、その他は「グリコ社長誘拐事件」、「新潟少女監禁事件」であった。一方、女性においては「ロッキード事件」、「リクルート事件」などの政治的出来事、「中国天安門事件」、「グリコ社長誘拐事件」、「新潟少女監禁事件」などの認知率は低下していたが、一方で、「大韓航空機爆破事件」、「阪神・淡路大震災」、「神戸連続児童殺傷事件」、「和歌山毒物カレー事件」、「米国同時多発テロ事件」、「イラク武装勢力による日本人質事件」「JR福知山線脱線事故」といった1990～2000年代にかけての国内外の社会的出来事については、認知率が上昇していた。

30代においては、男性のみ「皇太子(現天皇・皇后)ご成婚パレード」～「連合赤軍あさま山荘事件」といった1950～1960年代の出来事、女性は「神戸連続児童殺傷事件」、「日韓共催ワールドカップ」、「イラク武装勢力による日本人質事件」といった最近の国内外の出来事の認知率が上昇する傾向が見られる。40代においては、男女ともに「皇太子(現天皇・皇后)ご成婚パレード」と「東京オリンピック」の認知率が低下、「埼玉・連続幼女誘拐殺人事件」、「イラクのクェート侵攻、湾岸戦争」の認知率が上昇しているが、1990年代～最近の社会的出来事においては、男女で共通点は見られない。

50代においては、男性はいくつかの社会的出来事で認知率が低下するが、女性は「連合赤軍あさま山荘事件」といった昔の出来事から、「秋葉原通り魔事件」といった最近の出来事まで、幅広く認知率が上昇する。60代においても、特に女性で多くの社会的出来事の認知率が上昇する傾向が認められた。

総括すると、10代では男女ともに社会的出来事に対する認知率が上昇するが、20代以上は男性では認知率が低下、女性では上昇する傾向が見られる。また、男性では年代に共通した特徴はほとんど見られないが、女性では「日航ジャンボ機墜落事故」、「埼玉・連続幼女誘拐殺人事件」、「イラクのクェート侵攻、湾岸戦争」、「オウム真理教・地下鉄サリン事件」、「JR福知山線脱線事故」など、時代や国内外、政治や事件・事故にかかわらず、ほとんどの年代に共通して認知率が上昇している社会的出来事がある。

10代の認知率の上昇は、成長によって社会に関心が高まった結果と考えられるが、20代以上の性差は、小城ほか(2011)が、社会的出来事の集合的記憶は、リアルタイムのテレビ視聴よりも、後世のテレビ映像の視聴、自伝的記憶と結合やパーソナル・ネットワークでの共有によって構築される可能性を指摘していることに倣えば、女性の方が、この2年間にテレビで再び取り上げられた映像を繰り返し見たり、その事件や事故についてパーソナル・ネットワークで語り合ったりする機会が多かったと推測される。

3) 時間的展望と社会的出来事の集合的記憶

時間的展望尺度8項目について、因子分析(主因子法、Promax回転)を行い、「目標志向性」、「過去受容」、「現在の充実」、「時間の有効活用」の4因子構造と判断した。因子負荷量、 α 係数を表3に示す。年齢との相関を算出したところ、「目標志向性」とは負、「現在の充実」と「時間の有効活用」とは正の相関が認められたものの、いずれも係数は低く、明確な傾向とはいえなかった。また、「過去受容」においては、有意な相関は認められなかった($r = -.107, p < .001$; $r = .136, p < .001$; $r = .211, p < .001$; $r = -.011, n.s.$)。

次に、これらの4因子を用いてクラスタ分析を行い、回答者を4群に分割した。クラスタを独立変数、時間的展望、年齢、メディア接触を従属変数とする一元配置分散分析の

●表3 時間的展望尺度の因子分析

	目標志向性	過去志向	現在の充実	時間の有効活用
これからの人生に希望をもっている	.799	.013	.096	-.091
私には将来の目標がある	.700	-.001	-.091	.037
昔のことを懐かしく思うことがある	-.104	.732	-.004	-.006
以前訪れたことのある場所にまた行ってみたいと思うことがある	.178	.575	-.039	-.001
毎日の生活が充実している	.077	.083	.751	.091
毎日が同じことの繰り返しで退屈だ	.064	.140	-.512	.126
楽しいことよりも意味のあることに時間を使いたい	.185	-.091	-.006	.559
自分の人生に残された時間はあまり長くないと感じる	-.170	.079	-.029	.437
α	.697	.594	.503	.340

●表4 時間的展望尺度によるクラスタ分析

	第1クラスタ (N=407)		第2クラスタ (N=375)		第3クラスタ (N=443)		第4クラスタ (N=375)		F (3,1596)	p	
	M	SD	M	SD	M	SD	M	SD			
目標志向性	3.09	0.46	3.08	0.50	1.98	0.48	2.05	0.46	686.621	***	1=2>4=3
過去受容	3.01	0.51	3.16	0.55	3.25	0.44	2.21	0.47	358.631	***	3=2>1>4
現在の充実	2.97	0.51	2.80	0.55	2.01	0.52	2.53	0.44	287.9	***	1>2>4>3
時間の有効活用	2.17	0.37	3.23	0.38	2.71	0.52	2.28	0.55	414.34	***	2>3>4>1
年齢	38.0	15.4	41.7	16.3	41.1	15.4	39.3	16.0	4.682	**	all>1
新聞閲読時間	2.73	1.38	2.89	1.32	2.77	1.36	2.64	1.39	2.276	n.s.	-
雑誌閲読時間	1.80	0.81	1.89	0.87	1.76	0.81	1.65	0.82	5.283	**	2>4
ラジオ聴取時間	1.89	1.17	2.11	1.21	1.91	1.17	1.76	1.15	5.716	**	2>1=4
インターネット利用時間	3.55	1.16	3.65	1.13	3.78	1.11	3.56	1.20	3.744	*	3>1=4
テレビ愛着度	2.55	0.70	2.63	0.75	2.64	0.71	2.38	0.69	10.794	***	all>4
テレビ接触度	13.38	5.83	12.79	6.11	13.49	5.87	12.01	6.23	5.024	**	1=3>4

*注 「テレビ愛着度」は、小城ほか(2011)を参照のこと。「テレビ接触度」は「週に何回テレビを見るか」と「1日に何時間テレビを見るか」の回答の積。



結果を表4に示す。また、クラスタと性別のクロス集計を行ったところ（第1クラスタ；男性170名，女性237名，第2クラスタ；男性204名，女性171名，第3クラスタ；男性229名，女性214名，第4クラスタ；男性=197名，女性178），有意差が認められ（ $\chi^2_{(3)}=15.40, p<.01$ ），第1クラスタにおいて女性よりも男性が多かった（ $d = \pm 3.846, p<.01$ ）。

第1クラスタは、「目標志向性」と「現在の充実」が高く、「時間の有効活用」と「過去受容」が低いことから、現在・未来志向群と考えられる。男性が多く、テレビ接触度が高かった。平均年齢は他のクラスタよりも若い傾向が認められたが、分布を確認すると、やや10代が多いだけで、幅広い年代の回答者が含まれていた。第2クラスタは、「目標志向性」、「過去受容」、「時間の有効活用」が高く、「現在の充実」も2番目に高いことから過去・現在・未来のすべてにおいて積極的なアクティブ群と考えられる。ラジオや雑誌など、さまざまなマス・メディアの接触が多い。第3クラスタは、「過去受容」と「時間の有効活用」が高いが、「目標志向性」と「現在の充実」が低いことから、過去志向群と考えられる。テレビの接触度も高く、本報告がインターネットユーザーを対象としたウェブ調査であるにもかかわらず、その中でもインターネット利用時間が長かった。第4クラスタは、すべての因子において得点が低く、消極群と考えられる。あらゆるメディアの接触が低く、情報に対して無関心である。

次に、クラスタを独立変数、社会的出来事の記憶を従属変数とする一元配置分散分析を年代別に行った（表5-1-1～5-3-2）。紙面の都合上、年代は「10代・20代」、「30代・40代」、

●表 5-1-1 10代・20代男性

	第1クラス (N=59)		第2クラス (N=62)		第3クラス (N=66)		第4クラス (N=77)		F(3,260)	p	
	M	SD	M	SD	M	SD	M	SD			
大韓航空機爆発事件(1983)	1.17	0.38	1.34	0.57	1.21	0.48	1.12	0.36	2.908	*	2>4*
日航ジャンボ機(御巢鷹山)墜落事故(1985)	1.53	0.77	1.34	0.60	1.64	0.84	1.27	0.58	3.927	**	3>4*
イラクのクェート侵攻, 湾岸戦争(1991)	1.41	0.70	1.42	0.67	1.52	0.73	1.21	0.50	2.897	*	3>4*
皇太子ご成婚(雅子妃)パレード(1993)	1.41	0.65	1.48	0.72	1.48	0.75	1.22	0.48	2.662	*	2>4†, 3>4†
阪神・淡路大震災(1995)	2.14	0.88	2.10	0.84	2.32	0.83	1.83	0.83	4.07	**	3>4**
オウム真理教・地下鉄サリン事件(1995)	2.08	0.82	2.13	0.86	2.29	0.80	1.84	0.84	3.521	*	3>4**
ペルー日本大使公邸事件(1996)	1.41	0.72	1.58	0.84	1.61	0.86	1.22	0.53	4.146	**	2>4*
神戸児童連続殺傷(酒鬼薔薇聖斗)事件(1997)	1.76	0.86	1.81	0.88	2.00	0.91	1.48	0.74	4.635	**	3>4*
和歌山毒物カレー(林真須美)事件(1998)	2.14	0.82	2.11	0.87	2.30	0.80	1.74	0.80	6.051	**	3>4***, 2>4**, 1>4*
米国同時多発テロ事件(2001)	2.54	0.77	2.35	0.81	2.67	0.71	2.03	0.86	8.838	***	1>4**, 3>4***
日韓共催サッカーワールドカップ(2002)	2.25	0.86	2.24	0.80	2.38	0.78	1.70	0.81	10.016	***	1>4**, 2>4**, 3>4***
イラク武装勢力による日本人質事件(2004)	1.80	0.87	1.84	0.81	2.14	0.88	1.51	0.70	7.189	***	3>4***
JR 福知山線脱線事故(2005)	2.41	0.81	2.37	0.81	2.76	0.53	2.00	0.84	11.799	***	1>4*, 2>4*, 3>4***
秋田連続児童殺人(畠山鈴香)事件(2006)	2.07	0.91	2.00	0.85	2.20	0.85	1.71	0.83	4.118	**	3>4**
秋葉原通り魔事件(2008)	2.71	0.49	2.61	0.69	2.67	0.59	2.31	0.75	5.644	**	1>4**, 2>4*, 3>4**

●表 5-1-2 10代・20代女性

	第1クラス (N=88)		第2クラス (N=56)		第3クラス (N=66)		第4クラス (N=54)		F(3,260)	p	
	M	SD	M	SD	M	SD	M	SD			
皇太子ご成婚(雅子妃)パレード(1993)	1.56	0.76	1.61	0.76	1.53	0.68	1.28	0.53	2.504	*	1>4†, 2>4†
米国同時多発テロ事件(2001)	2.60	0.74	2.50	0.79	2.50	0.81	2.22	0.84	2.666	*	1>4*
秋葉原通り魔事件(2008)	2.77	0.50	2.62	0.59	2.64	0.49	2.43	0.72	4.21	**	1>4*



「50代・60代」に再カテゴリ化し、有意差が見られた結果のみ記載している。

10代・20代男性においては、多くの社会的出来事の記憶において時間的展望との関連が認められたが、すべてが消極群と他の群との差であった。「大韓航空機爆発事件」, 「ペルー日本大使公邸事件」, 「日航ジャンボ機(御巢鷹山)墜落事故」, 「イラクのクェート侵攻, 湾岸戦争」といった1980～1990年代の社会的出来事においては、アクティブ群、過去志向群との間に、「米国同時多発テロ事件(2001)」, 「秋葉原通り魔事件」といった最近の社会的出来事になると、さらに未来志向群との間にも有意差が認められる。一方、女性においては、そのうち、後者の特徴が顕著に見られる。

30代・40代男性においては、消極群と他の群との有意差のみならず、アクティブ群、過去志向群と現在・未来志向群との間にも有意差が認められることが、他の年代と異なっている。具体的には、「リクルート事件」, 「皇太子ご成婚(雅子妃)パレード」においてはアクティブ群と、「新潟少女監禁事件」においてはアクティブ群と過去志向群との間に

●表 5-2-1 30代・40代男性

	第1クラス (N=66)		第2クラス (N=62)		第3クラス (N=81)		第4クラス (N=63)		F(3,268)	p	
	M	SD	M	SD	M	SD	M	SD			
ロッキード事件国会証人喚問(1976)	1.44	0.66	1.61	0.71	1.60	0.67	1.30	0.50	3.588	*	2>4*, 3>4*
リクルート事件 (1988)	2.00	0.68	2.32	0.62	2.07	0.70	1.97	0.76	3.352	*	2>1*, 2>4*
皇太子ご成婚(雅子妃)パレード (1993)	2.05	0.73	2.44	0.67	2.35	0.67	2.03	0.78	5.504	**	2>1*, 3>4*, 2>4**
阪神・淡路大震災 (1995)	2.85	0.44	2.82	0.46	2.84	0.40	2.52	0.69	6.265	***	1>4**, 2>4**, 3>4**
オウム真理教・地下鉄サリン事件 (1995)	2.86	0.39	2.84	0.45	2.84	0.40	2.54	0.74	5.974	**	1>4**, 2>4**, 3>4**
新潟少女監禁事件 (2000)	1.65	0.71	2.06	0.83	1.99	0.77	1.75	0.76	4.298	**	2>1*, 3>1*
米国同時多発テロ事件(2001)	2.92	0.32	2.79	0.55	2.91	0.28	2.63	0.63	5.811	**	1>4**, 3>4**
日韓共催サッカーワールドカップ (2002)	2.68	0.61	2.66	0.65	2.62	0.60	2.25	0.78	5.927	**	1>4**, 2>4**, 3>4**
JR 福知山線脱線事故(2005)	2.68	0.59	2.73	0.58	2.70	0.49	2.44	0.67	3.315	*	2>4*, 3>4*

●表 5-2-2 30代・40代女性

	第1クラス (N=87)		第2クラス (N=51)		第3クラス (N=78)		第4クラス (N=56)		F(3,268)	p	
	M	SD	M	SD	M	SD	M	SD			
グリコ社長誘拐事件(1984)	1.95	0.76	2.22	0.73	1.90	0.70	1.80	0.72	3.141	*	2>4*
皇太子ご成婚(雅子妃)パレード (1993)	2.54	0.59	2.63	0.66	2.62	0.59	2.29	0.71	3.728	*	2>4*, 3>4*
阪神・淡路大震災 (1995)	2.85	0.36	2.84	0.42	2.91	0.29	2.70	0.54	3.278	*	3>4*
オウム真理教・地下鉄サリン事件 (1995)	2.90	0.31	2.78	0.50	2.88	0.36	2.70	0.57	3.174	*	1>4*
和歌山毒物カレー(林真須美)事件 (1998)	2.78	0.44	2.76	0.47	2.86	0.39	2.61	0.59	3.201	*	3>4*
新潟少女監禁事件 (2000)	1.94	0.85	2.25	0.82	1.92	0.75	1.75	0.69	3.775	*	2>4**
秋田連続児童殺人(畠山鈴香)事件 (2006)	2.57	0.68	2.49	0.67	2.65	0.64	2.30	0.74	3.123	*	3>4*
秋葉原通り魔事件 (2008)	2.84	0.37	2.78	0.50	2.78	0.53	2.55	0.57	4.202	**	1>4**, 3>4*

●表 5-3-1 50代・60代男性

	第1クラス (N=66)		第2クラス (N=80)		第3クラス (N=82)		第4クラス (N=57)		F(3,260)	p	
	M	SD	M	SD	M	SD	M	SD			
日航ジャンボ機(御巣鷹山)墜落事故 (1985)	2.80	0.46	2.76	0.46	2.70	0.51	2.53	0.60	3.197	*	1>4*, 2>4*
リクルート事件 (1988)	2.47	0.59	2.32	0.59	2.22	0.67	2.05	0.67	4.051	**	1>4**
昭和天皇崩御・大葬の礼(1989)	2.69	0.56	2.56	0.57	2.49	0.71	2.35	0.79	2.368	*	1>4†
皇太子ご成婚(雅子妃)パレード (1993)	2.51	0.63	2.36	0.70	2.17	0.77	2.14	0.72	3.303	*	1>4*
オウム真理教・地下鉄サリン事件 (1995)	2.87	0.34	2.85	0.36	2.91	0.28	2.70	0.57	3.459	*	3>4*

●表 5-3-2 50代・60代女性

	第1クラス (N=62)		第2クラス (N=64)		第3クラス (N=70)		第4クラス (N=68)		F(3,260)	p	
	M	SD	M	SD	M	SD	M	SD			
サイゴン陥落, ベトナム戦争終結 (1975)	1.53	0.59	1.81	0.73	1.61	0.71	1.40	0.55	4.682	**	2>4**
ロッキード事件国会証人喚問(1976)	2.13	0.64	2.25	0.69	2.10	0.71	1.91	0.66	2.842	*	2>4*
昭和天皇崩御・大葬の礼(1989)	2.66	0.51	2.67	0.57	2.61	0.57	2.41	0.65	2.93	*	1>4†, 2>4†
中国・天安門事件 (1989)	2.31	0.64	2.34	0.65	2.13	0.76	2.03	0.73	2.965	*	2>4†
ベルー日本大使公邸事件(1996)	2.37	0.71	2.36	0.74	2.17	0.80	2.04	0.76	2.865	*	1>4†, 2>4†
イラク武装勢力による日本人質事件 (2004)	2.34	0.63	2.28	0.70	2.09	0.74	2.01	0.76	3.095	*	1>4*
秋田連続児童殺人(畠山鈴香)事件 (2006)	2.63	0.63	2.73	0.54	2.73	0.51	2.43	0.76	3.656	*	2>4*, 3>4*

それぞれ有意差が認められており、30・40代男性の現在・未来志向群は、過去の社会的出来事について関心が薄いことが示唆される。女性においては、1980年代～最近の社会的出来事において、アクティブ群、過去志向群と、消極群との間に差が見られている。

50代・60代においては、若年層に比べると、全体的に有意差の見られる社会的出来事が少なくなり、時間的展望との関連が弱まる。男性では、主に1980～1990年代の社会的出来事において、現在・未来志向群と消極群との間に差が見られるが、女性では、1970年代の社会的出来事と、最近の出来事において、他の群との間に有意差が見られる。

全体として、消極群はどの年代においても社会的出来事に関心が薄いこと、アクティブ群と過去志向群は過去から最近の社会的出来事に至るまで関心が高いが、現在・未来志向群の関心は最近の社会的出来事に限定されること、この傾向は、高年層よりも若年層で、また、女性よりも男性に顕著であるといえる。

スター・アイドルの集合的記憶

1) 年代別・性別の好意度

スター・アイドルに対する評価を、「好き」、「どちらかといえば好き」を「好き」、「嫌い」、「どちらかといえば嫌い」を「嫌い」に再カテゴリ化して、「知らない」と「どちらともいえない」を加えた4カテゴリで、年代別・性別に単純集計を算出した(表6-1～6-6)。50%を超えたところに網掛けしてある。

10代・20代の若年層においては、男女とも「AKB48」が1位に挙げられている。30代男性では「キャンディーズ」、「浜崎あゆみ」、「松田聖子」といった過去の女性アイドルが挙げられているが、30代女性では「AKB48」、「宮沢りえ」、「モーニング娘。」といった最近の女性アイドルが挙げられている。また、40～60代においては、男女とも「吉永小百合」、「ザ・タイガース」、「山口百恵」、「キャンディーズ」など、過去のスター・アイドルが上位に共通しているが、50代女性のみ、最近の「モーニング娘。」が挙げられるなど、相違点もある。

さらに、回答者「好き」と回答した割合が50%を超えるスター・アイドルは、男女とも40代以上においては多く挙げられているが、若年層においては10代・20代女性で数名挙げられた程度で、きわめて少ないことがわかる。このことは、1990年代以降、メディアの多様化に伴って音楽やアイドルも多様化し、社会全体で共有されるトップ・スターが消滅したという指摘とも整合する。

2) 時間的展望とスター・アイドルに対する好意

スター・アイドルの中で、どの年代においても「嫌い」と回答した人がほとんどいない「山口百恵」や「吉永小百合」、若年層の認知率が極端に低い「橋幸夫」や「ジャッキー吉川とブルーコメッツ」などは、時間的展望と好意との関連を年代別に比較することが困難である。また、「美空ひばり」や「松田聖子」などは活動期間が長いので、回答者が想定した活動時期によって評価が大きく異なる。そこで、どの年代にも認知率が高く、「好き」と「嫌い」の割合が比較的拮抗している「SMAP」と、活動期間が短く、評価軸が固定されている「キャンディーズ」とを事例として取り上げ、時間的展望との関連を分析した。ここでは、「どちらともいえない」を「好き」と「嫌い」の連続変数の中間点ではなく、無関心の意味合いを含んでいると見なして、「キャンディーズ」または「SMAP」に対する好意(「好き」「どちらでもない」「嫌い」)を独立変数、時間的展望の4因子を従属変数とする一元配置分散分析を年代別に行った。有意差の見られた結果のみ、図1-1-1～1-2に示す(SMAP; $F_{(2,250)}=5.768, p<.01; F_{(2,250)}=4.241, p<.05; F_{(2,268)}=3.245, p<.05; F_{(2,259)}=3.101, p<.05$; キャンディーズ; $F_{(2,261)}=6.307, p<.01; F_{(2,266)}=3.158, p<.05; F_{(2,261)}=4.947, p<.01$)。

現在の男性スター・アイドル(ここでは「SMAP」)に対する好意は、男性のみ時間的展望と関連していたが、10代・20代男性においては、過去を受容しており、現在が充実

●表 6-1-1 スター・アイドルに対する好意（10代男性）

	知らない	嫌い	どちらともいえない	好き
1 AKB48	2.3	11.4	47.7	38.6
2 浜崎あゆみ	2.3	31.8	40.2	25.8
3 モーニング娘。	3.8	6.8	47.7	41.7
4 嵐	3.8	23.5	52.3	20.5
5 EXILE	4.5	31.1	53.8	10.6
6 SMAP	5.3	17.4	56.8	20.5
7 安室奈美恵	5.3	16.7	62.9	15.2
8 東方神起	6.8	26.5	48.5	18.2
9 ピンク・レディー	9.1	8.3	61.4	21.2
10 宮沢りえ	12.9	6.1	57.6	23.5
11 美空ひばり	19.7	3.0	64.4	12.9
12 キャンディーズ	19.7	7.6	61.4	11.4
13 沢田研二	19.7	9.1	59.8	11.4
14 郷ひろみ	28.0	7.6	51.5	12.9
15 工藤静香	28.8	11.4	53.8	6.1
16 田原俊彦	31.1	9.8	50.0	9.1
17 近藤真彦	31.1	10.6	51.5	6.8
18 石原裕次郎	31.8	3.0	56.8	8.3
19 ザ・タイガース	34.8	2.3	53.8	9.1
20 山口百恵	34.8	4.5	54.5	6.1
21 松田聖子	37.1	5.3	50.0	7.6
22 吉永小百合	38.6	1.5	48.5	11.4
23 南野陽子	38.6	5.3	51.5	4.5
24 中山美穂	42.4	3.8	51.5	2.3
25 光 GENJI	43.2	2.3	47.7	6.8
26 中森明菜	43.9	6.1	47.0	3.0
27 おニャン子クラブ	50.8	2.3	42.4	4.5
28 西城秀樹	52.3	4.5	38.6	4.5
29 KARA	73.5	2.3	22.0	2.3
30 ジャッキー吉川とブルーコメッツ	76.5	1.5	19.7	2.3
31 橋幸夫	78.8	2.3	17.4	1.5
32 ザ・スパイダース	79.5	0.8	18.9	0.8

●表 6-2-1 スター・アイドルに対する好意（10代女性）

	知らない	嫌い	どちらともいえない	好き
1 AKB48	0.8	9.8	28.0	61.4
2 浜崎あゆみ	0.8	22.7	32.6	43.9
3 SMAP	0.8	21.2	39.4	38.6
4 嵐	0.8	23.5	37.1	38.6
5 モーニング娘。	1.5	14.4	35.6	48.5
6 EXILE	1.5	25.0	44.7	28.8
7 安室奈美恵	2.3	22.0	45.5	30.3
8 東方神起	4.5	22.0	40.2	33.3
9 宮沢りえ	7.6	6.8	45.5	40.2
10 沢田研二	9.1	9.1	59.1	22.7
11 ピンク・レディー	9.8	14.4	56.8	18.9
12 美空ひばり	11.4	1.5	72.0	15.2
13 キャンディーズ	12.1	6.1	56.8	25.0
14 工藤静香	15.9	7.6	65.9	10.6
15 ザ・タイガース	16.7	1.5	59.8	22.0
16 近藤真彦	16.7	15.2	63.6	4.5
17 松田聖子	19.7	2.3	54.5	23.5
18 郷ひろみ	19.7	11.4	62.1	6.8
19 田原俊彦	20.5	17.4	52.3	9.8
20 南野陽子	20.5	11.4	60.6	7.6
21 石原裕次郎	20.5	9.8	66.7	3.0
22 山口百恵	22.0	4.5	60.6	12.9
23 吉永小百合	26.5	1.5	57.6	14.4
24 光 GENJI	28.8	4.5	50.8	15.9
25 中山美穂	33.3	6.1	51.5	9.1
26 中森明菜	40.2	6.1	50.0	3.8
27 おニャン子クラブ	43.2	4.5	47.0	5.3
28 西城秀樹	50.0	3.0	41.7	5.3
29 ジャッキー吉川とブルーコメッツ	78.8	0.8	16.7	3.8
30 KARA	78.8	1.5	18.9	0.8
31 橋幸夫	84.1	0.0	14.4	1.5
32 ザ・スパイダース	86.4	0.0	12.9	0.8

●表 6-1-2 スター・アイドルに対する好意 (20代男性)

	知らない	嫌い	どちらともいえない	好き
1 AKB48	3.0	9.8	47.7	39.4
2 EXILE	4.5	33.3	54.5	7.6
3 KARA	34.1	7.6	51.5	6.8
4 SMAP	3.0	22.0	50.8	24.2
5 おニャン子クラブ	15.2	6.8	62.9	15.2
6 キャンディーズ	10.6	4.5	68.2	16.7
7 ザ・スパイダース	65.2	3.0	28.8	3.0
8 ザ・タイガース	12.1	4.5	61.4	22.0
9 ジャッキー吉川とブルーコメッツ	50.8	5.3	37.1	6.8
10 ピンク・レディー	6.1	11.4	53.8	28.8
11 モーニング娘。	3.0	9.1	50.0	37.9
12 安室奈美恵	3.0	15.2	55.3	26.5
13 吉永小百合	11.4	4.5	59.8	24.2
14 宮沢りえ	3.8	9.1	59.8	27.3
15 橋幸夫	51.5	5.3	38.6	4.5
16 郷ひろみ	7.6	9.8	68.2	14.4
17 近藤真彦	9.8	13.6	71.2	5.3
18 光 GENJI	6.8	7.6	69.7	15.9
19 工藤静香	6.8	14.4	67.4	11.4
20 山口百恵	14.4	6.1	72.7	6.8
21 松田聖子	10.6	7.6	62.9	18.9
22 西城秀樹	12.9	6.1	62.1	18.9
23 石原裕次郎	9.8	6.1	63.6	20.5
24 沢田研二	6.8	11.4	60.6	21.2
25 中山美穂	12.9	6.8	68.9	11.4
26 中森明菜	12.9	10.6	68.9	7.6
27 田原俊彦	8.3	11.4	65.9	14.4
28 東方神起	6.1	28.0	47.0	18.9
29 南野陽子	7.6	18.2	64.4	9.8
30 美空ひばり	8.3	6.8	62.9	22.0
31 浜崎あゆみ	3.0	22.0	47.0	28.0
32 嵐	3.0	28.0	50.8	18.2

●表 6-2-2 スター・アイドルに対する好意 (20代女性)

	知らない	嫌い	どちらともいえない	好き
1 AKB48	0.0	7.6	23.5	68.9
2 宮沢りえ	0.0	6.8	37.9	55.3
3 モーニング娘。	0.0	9.1	43.2	47.7
4 嵐	0.0	20.5	39.4	40.2
5 SMAP	0.0	19.7	40.9	39.4
6 ピンク・レディー	0.0	13.6	58.3	28.0
7 安室奈美恵	0.0	22.0	51.5	26.5
8 沢田研二	0.8	22.0	49.2	28.0
9 浜崎あゆみ	1.5	28.0	40.2	30.3
10 郷ひろみ	1.5	17.4	71.2	9.8
11 松田聖子	2.3	12.9	56.1	28.8
12 南野陽子	2.3	18.2	56.8	22.7
13 キャンディーズ	3.0	5.3	60.6	31.1
14 工藤静香	3.0	9.8	63.6	23.5
15 ザ・タイガース	3.8	1.5	54.5	40.2
16 美空ひばり	3.8	3.8	62.9	29.5
17 光 GENJI	4.5	6.8	59.8	28.8
18 田原俊彦	4.5	24.2	57.6	13.6
19 東方神起	5.3	18.2	40.2	36.4
20 吉永小百合	6.1	3.0	56.8	34.1
21 石原裕次郎	6.1	9.1	76.5	8.3
22 中山美穂	6.8	5.3	68.2	19.7
23 おニャン子クラブ	7.6	6.1	64.4	22.0
24 中森明菜	7.6	28.8	56.8	6.8
25 近藤真彦	8.3	19.7	61.4	10.6
26 山口百恵	12.1	3.0	65.9	18.9
27 西城秀樹	13.6	13.6	57.6	15.2
28 EXILE	20.5	39.4	40.2	27.3
29 KARA	30.3	6.8	60.6	2.3
30 橋幸夫	60.6	0.8	32.6	6.1
31 ジャッキー吉川とブルーコメッツ	63.6	0.8	30.3	5.3
32 ザ・スパイダース	68.2		28.0	3.8

●表 6-1-3 スター・アイドルに対する好意 (30代男性)

	知らない	嫌い	どちらともいえない	好き	
1	キャンディーズ	0.7	2.2	68.4	28.7
2	浜崎あゆみ	0.7	16.9	53.7	28.7
3	松田聖子	0.7	11.0	61.0	27.2
4	近藤真彦	0.7	10.3	62.5	26.5
5	安室奈美恵	0.7	8.8	68.4	22.1
6	郷ひろみ	0.7	7.4	71.3	20.6
7	SMAP	0.7	19.9	58.8	20.6
8	嵐	0.7	20.6	58.8	19.9
9	南野陽子	0.7	17.6	63.2	18.4
10	モーニング娘。	1.5	10.3	47.8	40.4
11	AKB48	1.5	11.0	50.7	36.8
12	おニャン子クラブ	1.5	6.6	57.4	34.6
13	ザ・タイガース	1.5	2.2	64.7	31.6
14	中山美穂	1.5	5.1	61.8	31.6
15	美空ひばり	1.5	4.4	65.4	28.7
16	宮沢りえ	1.5	9.6	60.3	28.7
17	ピンク・レディー	1.5	5.9	66.9	25.7
18	光 GENJI	1.5	8.1	65.4	25.0
19	沢田研二	1.5	14.0	60.3	24.3
20	中森明菜	1.5	17.6	64.0	16.9
21	吉永小百合	2.2	3.7	63.2	30.9
22	石原裕次郎	2.2	4.4	67.6	25.7
23	西城秀樹	2.2	6.6	66.9	24.3
24	田原俊彦	2.2	11.0	64.0	22.8
25	工藤静香	2.2	21.3	64.7	11.8
26	山口百恵	2.9	2.2	73.5	21.3
27	東方神起	3.7	23.5	47.1	25.7
28	EXILE	5.1	36.0	50.7	8.1
29	KARA	7.4	11.8	77.9	2.9
30	ジャッキー吉川とブルーコメッツ	25.7	1.5	63.2	9.6
31	橋幸夫	25.7	4.4	64.0	5.9
32	ザ・スパイダース	44.1	2.9	47.8	5.1

●表 6-2-3 スター・アイドルに対する好意 (30代女性)

	知らない	嫌い	どちらともいえない	好き	
1	AKB48	0.0	8.1	28.7	63.2
2	宮沢りえ	0.0	6.6	37.5	55.9
3	モーニング娘。	0.0	9.6	41.2	49.3
4	沢田研二	0.0	15.4	43.4	41.2
5	嵐	0.0	16.2	44.1	39.7
6	光 GENJI	0.0	7.4	56.6	36.0
7	松田聖子	0.0	14.7	50.7	34.6
8	SMAP	0.0	27.2	44.1	28.7
9	安室奈美恵	0.0	25.0	52.9	22.1
10	中森明菜	0.0	27.9	61.8	10.3
11	中山美穂	0.7	11.0	55.1	33.1
12	ピンク・レディー	0.7	11.8	61.0	26.5
13	田原俊彦	0.7	10.3	66.9	22.1
14	浜崎あゆみ	0.7	33.8	47.8	17.6
15	南野陽子	0.7	26.5	55.9	16.9
16	工藤静香	0.7	19.1	64.0	16.2
17	郷ひろみ	0.7	14.0	74.3	11.0
18	吉永小百合	1.5	2.9	57.4	38.2
19	おニャン子クラブ	1.5	9.6	52.2	36.8
20	美空ひばり	1.5	4.4	60.3	33.8
21	西城秀樹	1.5	11.8	69.1	17.6
22	石原裕次郎	1.5	8.1	73.5	16.9
23	キャンディーズ	2.2	4.4	52.2	41.2
24	EXILE	2.2	22.1	52.2	23.5
25	ザ・タイガース	2.9	1.5	52.2	43.4
26	近藤真彦	4.4	17.6	64.7	13.2
27	東方神起	5.1	19.9	52.2	22.8
28	山口百恵	5.9	2.9	63.2	27.9
29	KARA	9.6	17.6	69.1	3.7
30	ジャッキー吉川とブルーコメッツ	43.4	2.2	47.1	7.4
31	橋幸夫	44.1	2.9	48.5	4.4
32	ザ・スパイダース	63.2	1.5	33.1	2.2

●表 6-1-4 スター・アイドルに対する好意 (40代男性)

	知らない	嫌い	どちらともいえない	好き
1 山口百恵	0.0	2.3	23.5	74.2
2 吉永小百合	0.0	2.3	26.5	71.2
3 ザ・タイガース	0.0	5.3	27.3	67.4
4 キャンディーズ	0.0	7.6	41.7	50.8
5 ジャッキー吉川とブルーコメッツ	0.0	10.6	47.0	42.4
6 美空ひばり	0.0	10.6	47.7	41.7
7 松田聖子	0.0	15.2	43.2	41.7
8 石原裕次郎	0.0	9.1	51.5	39.4
9 モーニング娘。	0.0	13.6	50.0	36.4
10 沢田研二	0.0	22.7	42.4	34.8
11 西城秀樹	0.0	12.1	55.3	32.6
12 光 GENJI	0.0	10.6	58.3	31.1
13 ピンク・レディー	0.0	24.2	49.2	26.5
14 浜崎あゆみ	0.0	23.5	56.1	20.5
15 郷ひろみ	0.0	21.2	61.4	17.4
16 KARA	0.0	25.0	62.1	12.9
17 中森明菜	0.0	49.2	39.4	11.4
18 田原俊彦	0.0	40.2	50.0	9.8
19 ザ・スパイダース	0.8	9.1	47.0	43.2
20 おニャン子クラブ	0.8	10.6	53.8	34.8
21 近藤真彦	0.8	9.1	56.8	33.3
22 中山美穂	0.8	9.1	56.8	33.3
23 SMAP	0.8	22.0	53.0	24.2
24 安室奈美恵	0.8	22.7	53.0	23.5
25 宮沢りえ	0.8	18.2	58.3	22.7
26 南野陽子	0.8	22.0	59.1	18.2
27 橋幸夫	2.3	8.3	44.7	44.7
28 工藤静香	2.3	43.9	50.0	3.8
29 AKB48	3.8	13.6	56.8	25.8
30 嵐	6.8	22.7	46.2	24.2
31 東方神起	8.3	18.9	46.2	26.5
32 EXILE	9.1	31.1	53.0	6.8

●表 6-2-4 スター・アイドルに対する好意 (40代女性)

	知らない	嫌い	どちらともいえない	好き
1 ザ・タイガース	0.0	3.7	31.6	64.7
2 キャンディーズ	0.0	5.1	30.1	64.7
3 山口百恵	0.0	1.5	36.0	62.5
4 モーニング娘。	0.0	6.6	34.6	58.8
5 AKB48	0.0	2.9	39.7	57.4
6 松田聖子	0.0	13.2	33.1	53.7
7 沢田研二	0.0	14.0	33.8	52.2
8 吉永小百合	0.0	2.9	45.6	51.5
9 西城秀樹	0.0	5.1	52.9	41.9
10 ピンク・レディー	0.0	10.3	50.0	39.7
11 宮沢りえ	0.0	11.8	49.3	39.0
12 おニャン子クラブ	0.0	15.4	46.3	38.2
13 田原俊彦	0.0	19.1	47.1	33.8
14 美空ひばり	0.0	6.6	61.0	32.4
15 光 GENJI	0.0	14.0	54.4	31.6
16 郷ひろみ	0.0	5.9	63.2	30.9
17 中山美穂	0.0	19.1	52.9	27.9
18 SMAP	0.0	26.5	45.6	27.9
19 石原裕次郎	0.0	12.5	64.0	23.5
20 南野陽子	0.0	38.2	41.9	19.9
21 中森明菜	0.0	39.7	41.2	19.1
22 安室奈美恵	0.0	29.4	52.2	18.4
23 近藤真彦	0.7	47.8	39.0	12.5
24 工藤静香	0.7	36.0	50.7	12.5
25 嵐	1.5	13.2	46.3	39.0
26 KARA	1.5	19.9	74.3	4.4
27 浜崎あゆみ	2.2	34.6	45.6	17.6
28 EXILE	2.9	26.5	48.5	22.1
29 東方神起	5.9	18.4	51.5	24.3
30 ジャッキー吉川とブルーコメッツ	5.9	4.4	69.1	20.6
31 橋幸夫	14.7	5.1	73.5	6.6
32 ザ・スパイダース	37.5	5.1	53.7	3.7

●表 6-1-5 スター・アイドルに対する好意 (50代男性)

	知らない	嫌い	どちらともいえない	好き
1 山口百恵	0.0	2.3	23.5	74.2
2 吉永小百合	0.0	2.3	26.5	71.2
3 ザ・タイガース	0.0	5.3	27.3	67.4
4 キャンディーズ	0.0	7.6	41.7	50.8
5 ジャッキー吉川とブルーコメッツ	0.0	10.6	47.0	42.4
6 美空ひばり	0.0	10.6	47.7	41.7
7 松田聖子	0.0	15.2	43.2	41.7
8 石原裕次郎	0.0	9.1	51.5	39.4
9 モーニング娘。	0.0	13.6	50.0	36.4
10 沢田研二	0.0	22.7	42.4	34.8
11 西城秀樹	0.0	12.1	55.3	32.6
12 光 GENJI	0.0	10.6	58.3	31.1
13 ピンク・レディー	0.0	24.2	49.2	26.5
14 浜崎あゆみ	0.0	23.5	56.1	20.5
15 郷ひろみ	0.0	21.2	61.4	17.4
16 KARA	0.0	25.0	62.1	12.9
17 中森明菜	0.0	49.2	39.4	11.4
18 田原俊彦	0.0	40.2	50.0	9.8
19 ザ・スパイダース	0.8	9.1	47.0	43.2
20 おニャン子クラブ	0.8	10.6	53.8	34.8
21 近藤真彦	0.8	9.1	56.8	33.3
22 中山美穂	0.8	9.1	56.8	33.3
23 SMAP	0.8	22.0	53.0	24.2
24 安室奈美恵	0.8	22.7	53.0	23.5
25 宮沢りえ	0.8	18.2	58.3	22.7
26 南野陽子	0.8	22.0	59.1	18.2
27 橋幸夫	2.3	8.3	44.7	44.7
28 工藤静香	2.3	43.9	50.0	3.8
29 AKB48	3.8	13.6	56.8	25.8
30 嵐	6.8	22.7	46.2	24.2
31 東方神起	8.3	18.9	46.2	26.5
32 EXILE	9.1	31.1	53.0	6.8

●表 6-2-5 スター・アイドルに対する好意 (50代女性)

	知らない	嫌い	どちらともいえない	好き
1 ザ・タイガース	0.0	4.5	31.8	63.6
2 吉永小百合	0.0	6.1	31.1	62.9
3 モーニング娘。	0.0	9.8	31.8	58.3
4 山口百恵	0.0	6.1	42.4	51.5
5 西城秀樹	0.0	7.6	41.7	50.8
6 光 GENJI	0.0	13.6	46.2	40.2
7 キャンディーズ	0.0	14.4	46.2	39.4
8 ピンク・レディー	0.0	16.7	43.9	39.4
9 宮沢りえ	0.0	15.2	53.8	31.1
10 松田聖子	0.0	23.5	46.2	30.3
11 美空ひばり	0.0	17.4	53.8	28.8
12 郷ひろみ	0.0	17.4	54.5	28.0
13 沢田研二	0.0	29.5	43.9	26.5
14 石原裕次郎	0.0	15.9	59.8	24.2
15 中山美穂	0.0	18.9	64.4	16.7
16 田原俊彦	0.0	25.8	59.1	15.2
17 中森明菜	0.0	47.7	40.9	11.4
18 安室奈美恵	0.0	28.0	61.4	10.6
19 南野陽子	0.0	40.9	49.2	9.8
20 KARA	0.0	30.3	62.9	6.8
21 AKB48	0.8	3.8	35.6	59.8
22 ジャッキー吉川とブルーコメッツ	0.8	3.8	38.6	56.8
23 おニャン子クラブ	0.8	22.0	55.3	22.0
24 SMAP	0.8	25.0	59.1	15.2
25 工藤静香	0.8	32.6	57.6	9.1
26 近藤真彦	0.8	43.9	50.0	5.3
27 嵐	1.5	14.4	44.7	39.4
28 橋幸夫	1.5	8.3	62.9	27.3
29 ザ・スパイダース	1.5	6.1	66.7	25.8
30 浜崎あゆみ	3.8	37.9	46.2	12.1
31 EXILE	5.3	20.5	56.1	18.2
32 東方神起	6.1	26.5	53.8	13.6

●表 6-1-6 スター・アイドルに対する好意 (60代男性)

	知らない	嫌い	どちらともいえない	好き
1 吉永小百合	0.0	2.3	18.2	79.5
2 ザ・タイガース	0.0	3.0	28.0	68.9
3 石原裕次郎	0.0	6.8	30.3	62.9
4 キャンディーズ	0.0	6.1	35.6	58.3
5 美空ひばり	0.0	9.1	33.3	57.6
6 ザ・スパイダース	0.0	5.3	46.2	48.5
7 橋幸夫	0.0	8.3	50.8	40.9
8 KARA	0.0	15.9	52.3	31.8
9 西城秀樹	0.0	17.4	51.5	31.1
10 光 GENJI	0.0	18.9	50.8	30.3
11 沢田研二	0.0	23.5	53.0	23.5
12 ピンク・レディー	0.0	23.5	53.8	22.7
13 郷ひろみ	0.0	15.2	62.1	22.7
14 中森明菜	0.0	34.1	57.6	8.3
15 山口百恵	0.8	4.5	26.5	68.2
16 ジャッキー吉川とブルーコメッツ	0.8	8.3	47.7	43.2
17 松田聖子	0.8	18.9	50.0	30.3
18 宮沢りえ	0.8	21.2	52.3	25.8
19 安室奈美恵	0.8	28.8	47.7	22.7
20 SMAP	0.8	17.4	62.9	18.9
21 南野陽子	0.8	20.5	61.4	17.4
22 田原俊彦	0.8	27.3	59.1	12.9
23 モーニング娘。	1.5	9.1	49.2	40.2
24 浜崎あゆみ	3.0	30.3	56.1	10.6
25 中山美穂	4.5	7.6	59.1	28.8
26 おニャン子クラブ	4.5	12.1	56.1	27.3
27 AKB48	4.5	13.6	62.9	18.9
28 近藤真彦	5.3	33.3	47.0	14.4
29 工藤静香	6.1	31.8	57.6	4.5
30 嵐	7.6	18.9	62.1	11.4
31 EXILE	15.2	29.5	53.0	2.3
32 東方神起	17.4	19.7	50.0	12.9

●表 6-2-6 スター・アイドルに対する好意 (60代女性)

	知らない	嫌い	どちらともいえない	好き
1 吉永小百合	0.0	0.8	25.0	74.2
2 美空ひばり	0.0	4.5	32.6	62.9
3 ザ・タイガース	0.0	5.3	37.9	56.8
4 石原裕次郎	0.0	9.8	35.6	54.5
5 山口百恵	0.0	7.6	47.7	44.7
6 キャンディーズ	0.0	7.6	54.5	37.9
7 西城秀樹	0.0	9.1	53.0	37.9
8 光 GENJI	0.0	13.6	53.0	33.3
9 ピンク・レディー	0.0	22.7	56.8	20.5
10 郷ひろみ	0.0	15.2	64.4	20.5
11 KARA	0.0	25.8	53.8	20.5
12 沢田研二	0.0	34.1	46.2	19.7
13 松田聖子	0.0	31.8	51.5	16.7
14 田原俊彦	0.0	28.0	57.6	14.4
15 モーニング娘。	0.8	3.8	44.7	50.8
16 ジャッキー吉川とブルーコメッツ	0.8	3.0	51.5	44.7
17 中山美穂	0.8	16.7	62.1	20.5
18 南野陽子	0.8	30.3	59.1	9.8
19 ザ・スパイダース	1.5	4.5	57.6	36.4
20 宮沢りえ	1.5	19.7	58.3	20.5
21 SMAP	1.5	32.6	54.5	11.4
22 中森明菜	1.5	40.9	50.8	6.8
23 おニャン子クラブ	2.3	22.7	57.6	17.4
24 安室奈美恵	2.3	43.9	48.5	5.3
25 AKB48	3.0	11.4	45.5	40.2
26 橋幸夫	3.0	6.8	58.3	31.8
27 工藤静香	3.8	33.3	55.3	7.6
28 浜崎あゆみ	3.8	46.2	46.2	3.8
29 近藤真彦	4.5	51.5	42.4	1.5
30 嵐	9.8	13.6	53.8	22.7
31 EXILE	12.1	25.0	57.6	5.3
32 東方神起	15.2	31.1	49.2	4.5

図1-1 SMAPに対する好意と時間的展望

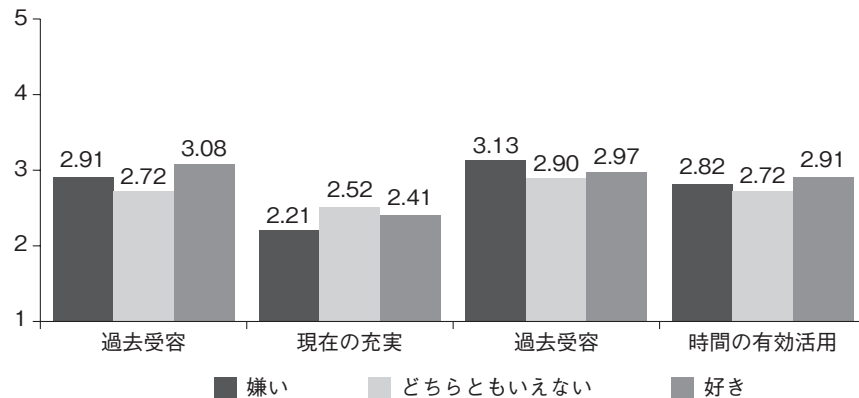


図1-2 キャンディーズに対する好意と時間的展望

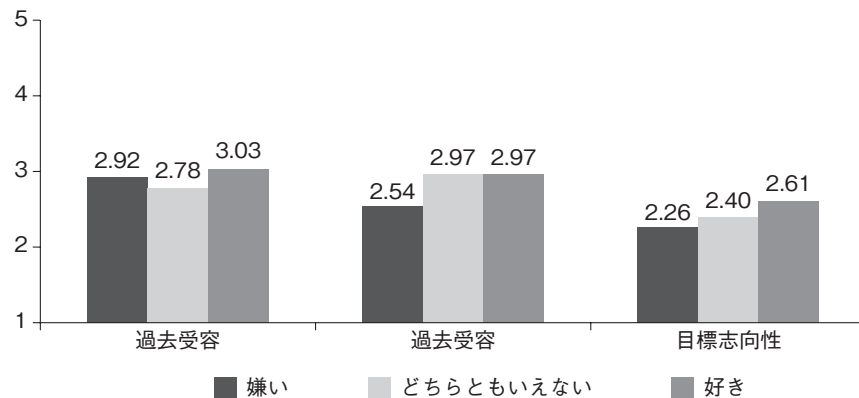


Figure & Table

していることが現在のスター・アイドルに対する好意度を規定しているのに対して、アイデンティティの再構築が発達課題となっている30代・40代においては過去を受容していない人が嫌い、50代・60代においては時間を有効活用している人が好む傾向が見られた。

過去の女性スター・アイドル（ここでは「キャンディーズ」）に対する好意は、全盛期を知らない10代・20代の男女と、全体的に好意度の高い30代・40代男性においては、時間的展望との関連は見られなかった。30代・40代女性においては、過去を受容していない人が嫌い、50代・60代男性においては過去を受容している人が、50代・60代女性においては目標志向性が高い人が好む傾向が見られた。

総括すると、30代・40代においては、過去を受容していない人が同性のスター・アイドルを嫌う傾向が見られた。50・60代においては、性差はあるものの、総じてポジティブな時間的展望とスター・アイドルへの好意とが関連していた。

音楽番組の集合的記憶

1950年代～2000年代に放送された音楽番組についての記憶を、年代別・性別に集計した（表7-1-1～7-2-6）。30%以上の回答があったところに網掛けしてある。10代では、女性が「HEY!HEY!HEY!MUSIC CHAMP」など、現在も放送されていて、バラエティの要素の強い番組の視聴率が高かったが、男性ではほとんどの番組を知らないか、視聴していなかった。20代では、10代女性の視聴率が高かった「HEY!HEY!HEY!MUSIC CHAMP」などに加えて、「ミュージックステーション」や「ポップジャム」のように、音楽情報提

●表 7-1-1 音楽番組の記憶（10代男性）

	知らない／ 覚えていない	ほとんど見てい なかった(いない)	ときどき見て いた(いる)	よく見ていた (いる)
1 ザ・ヒットパレード（フジテレビ系列；1959年～1970年）	93.2	6.1	0.8	0.0
2 歌のグラント・ショー（NHK；1964年～1968年）	94.7	3.8	1.5	0.0
3 MUSIC FAIR 21（フジテレビ系列，1964年～）	75.8	14.4	9.1	0.8
4 夜のヒットスタジオ（フジテレビ系列；1968～1990年）	92.4	6.8	0.8	0.0
5 レッツゴーヤング（NHK；1974年～1986年）	93.9	5.3	0.8	0.0
6 ザ・ベストテン（TBS系列；1978年～1989年）	89.4	9.1	1.5	0.0
7 ザ・トップテン（日本テレビ系列；1981年～1986年）	93.2	5.3	0.8	0.8
8 ヤングスタジオ101（NHK；1986年～1988年）	93.2	4.5	1.5	0.8
9 歌のトップテン（日本テレビ系列；1986年～1990年）	93.9	4.5	1.5	0.0
10 ミュージックステーション（テレビ朝日系列；1986年～）	43.9	15.2	19.7	21.2
11 ポップジャム（NHK；1993年～2007年）	81.1	10.6	6.1	2.3
12 NHK 歌謡コンサート（NHK；1993年～）	66.7	24.2	6.1	3.0
13 HEY!HEY!HEY!MUSIC CHAMP（フジテレビ系列；1994年～）	40.9	23.5	28.0	7.6
14 速報！歌の大辞テン（日本テレビ系列；1996年～2005年）	68.2	11.4	14.4	6.1
15 うたばん（TBS系列；1996年～2010年）	30.3	27.3	28.0	14.4

●表 7-2-1 音楽番組の記憶（10代女性）

	知らない／ 覚えていない	ほとんど見てい なかった(いない)	ときどき見て いた(いる)	よく見ていた (いる)
1 ザ・ヒットパレード（フジテレビ系列；1959年～1970年）	90.2	7.6	2.3	0.0
2 歌のグラント・ショー（NHK；1964年～1968年）	94.7	4.5	0.8	0.0
3 MUSIC FAIR 21（フジテレビ系列，1964年～）	88.6	9.8	1.5	0.0
4 夜のヒットスタジオ（フジテレビ系列；1968～1990年）	93.2	5.3	1.5	0.0
5 レッツゴーヤング（NHK；1974年～1986年）	85.6	12.9	0.8	0.8
6 ザ・ベストテン（TBS系列；1978年～1989年）	87.9	10.6	0.8	0.8
7 ザ・トップテン（日本テレビ系列；1981年～1986年）	93.2	6.1	0.8	0.0
8 ヤングスタジオ101（NHK；1986年～1988年）	90.2	6.8	1.5	1.5
9 歌のトップテン（日本テレビ系列；1986年～1990年）	18.9	9.1	38.6	33.3
10 ミュージックステーション（テレビ朝日系列；1986年～）	68.2	18.9	12.1	0.8
11 ポップジャム（NHK；1993年～2007年）	68.2	18.9	12.1	0.8
12 NHK 歌謡コンサート（NHK；1993年～）	56.1	31.1	10.6	2.3
13 HEY!HEY!HEY!MUSIC CHAMP（フジテレビ系列；1994年～）	15.9	24.2	42.4	17.4
14 速報！歌の大辞テン（日本テレビ系列；1996年～2005年）	59.8	18.2	13.6	8.3
15 うたばん（TBS系列；1996年～2010年）	12.1	22.0	40.2	25.8



●表 7-1-2 音楽番組の記憶 (20代男性)

	知らない／ 覚えていない	ほとんど見てい なかった(いない)	ときどき見て いた(いる)	よく見ていた (いる)	
1	ザ・ヒットパレード (フジテレビ系列; 1959年～1970年)	81.1	13.6	4.5	0.0
2	歌のグランド・ショー (NHK; 1964年～1968年)	90.2	7.6	1.5	0.8
3	MUSIC FAIR 21 (フジテレビ系列, 1964年～)	56.1	23.5	18.9	1.5
4	夜のヒットスタジオ (フジテレビ系列; 1968～1990年)	72.0	21.2	4.5	2.3
5	レッツゴーヤング (NHK; 1974年～1986年)	87.1	10.6	1.5	0.8
6	ザ・ベストテン (TBS 系列; 1978年～1989年)	66.7	25.8	4.5	3.0
7	ザ・トップテン (日本テレビ系列; 1981年～1986年)	78.8	16.7	3.8	0.8
8	ヤングスタジオ 101 (NHK; 1986年～1988年)	89.4	9.1	1.5	0.0
9	歌のトップテン (日本テレビ系列; 1986年～1990年)	75.8	17.4	5.3	1.5
10	ミュージックステーション (テレビ朝日系列; 1986年～)	11.4	26.5	43.9	18.2
11	ポップジャム (NHK; 1993年～2007年)	34.1	28.8	31.8	5.3
12	NHK 歌謡コンサート (NHK; 1993年～)	51.5	42.4	5.3	0.8
13	HEY!HEY!HEY!MUSIC CHAMP (フジテレビ系列; 1994年～)	9.8	37.1	34.8	18.2
14	速報! 歌の大辞テン (日本テレビ系列; 1996年～2005年)	20.5	29.5	40.9	9.1
15	うたばん (TBS 系列; 1996年～2010年)	9.8	32.6	42.4	15.2

●表 7-2-2 音楽番組の記憶 (20代女性)

	知らない／ 覚えていない	ほとんど見てい なかった(いない)	ときどき見て いた(いる)	よく見ていた (いる)	
1	ザ・ヒットパレード (フジテレビ系列; 1959年～1970年)	93.2	0.0	6.1	0.8
2	歌のグランド・ショー (NHK; 1964年～1968年)	96.2	3.8	0.0	0.0
3	MUSIC FAIR 21 (フジテレビ系列, 1964年～)	53.0	18.9	25.8	2.3
4	夜のヒットスタジオ (フジテレビ系列; 1968～1990年)	81.8	10.6	6.8	0.8
5	レッツゴーヤング (NHK; 1974年～1986年)	96.2	0.0	3.0	0.8
6	ザ・ベストテン (TBS 系列; 1978年～1989年)	78.8	12.1	7.6	1.5
7	ザ・トップテン (日本テレビ系列; 1981年～1986年)	86.4	8.3	5.3	0.0
8	ヤングスタジオ 101 (NHK; 1986年～1988年)	95.5	3.8	0.8	0.0
9	歌のトップテン (日本テレビ系列; 1986年～1990年)	84.1	9.8	5.3	0.8
10	ミュージックステーション (テレビ朝日系列; 1986年～)	5.3	14.4	49.2	31.1
11	ポップジャム (NHK; 1993年～2007年)	24.2	23.5	39.4	12.9
12	NHK 歌謡コンサート (NHK; 1993年～)	54.5	34.8	9.8	0.8
13	HEY!HEY!HEY!MUSIC CHAMP (フジテレビ系列; 1994年～)	9.1	21.2	49.2	20.5
14	速報! 歌の大辞テン (日本テレビ系列; 1996年～2005年)	14.4	18.2	45.5	22.0
15	うたばん (TBS 系列; 1996年～2010年)	4.5	21.2	50.0	24.2

●表 7-1-3 音楽番組の記憶 (30 代男性)

		知らない／ 覚えていない	ほとんど見てい なかった(いない)	ときどき見て いた(いる)	よく見ていた (いる)
1	ザ・ヒットパレード (フジテレビ系列; 1959年～1970年)	72.1	19.9	5.9	2.2
2	歌のグラウンド・ショー (NHK; 1964年～1968年)	83.8	16.2	0.0	0.0
3	MUSIC FAIR 21 (フジテレビ系列, 1964年～)	33.8	36.8	27.9	1.5
4	夜のヒットスタジオ (フジテレビ系列; 1968～1990年)	22.8	35.3	33.1	8.8
5	レッツゴーヤング (NHK; 1974年～1986年)	65.4	25.7	8.1	0.7
6	ザ・ベストテン (TBS 系列; 1978年～1989年)	17.6	24.3	35.3	22.8
7	ザ・トップテン (日本テレビ系列; 1981年～1986年)	19.1	24.3	36.0	20.6
8	ヤングスタジオ 101 (NHK; 1986年～1988年)	70.6	22.8	5.9	0.7
9	歌のトップテン (日本テレビ系列; 1986年～1990年)	31.6	29.4	26.5	12.5
10	ミュージックステーション (テレビ朝日系列; 1986年～)	4.4	29.4	54.4	11.8
11	ポップジャム (NHK; 1993年～2007年)	18.4	47.8	29.4	4.4
12	NHK 歌謡コンサート (NHK; 1993年～)	49.3	42.6	6.6	1.5
13	HEY!HEY!HEY!MUSIC CHAMP (フジテレビ系列; 1994年～)	5.1	30.1	49.3	15.4
14	速報!歌の大辞テン (日本テレビ系列; 1996年～2005年)	14.0	44.9	33.1	8.1
15	うたばん (TBS 系列; 1996年～2010年)	8.8	39.7	42.6	8.8

●表 7-2-3 音楽番組の記憶 (30 代女性)

		知らない／ 覚えていない	ほとんど見てい なかった(いない)	ときどき見て いた(いる)	よく見ていた (いる)
1	ザ・ヒットパレード (フジテレビ系列; 1959年～1970年)	68.4	13.2	11.0	7.4
2	歌のグラウンド・ショー (NHK; 1964年～1968年)	91.2	8.8	0.0	0.0
3	MUSIC FAIR 21 (フジテレビ系列, 1964年～)	33.1	29.4	32.4	5.1
4	夜のヒットスタジオ (フジテレビ系列; 1968～1990年)	20.6	23.5	33.8	22.1
5	レッツゴーヤング (NHK; 1974年～1986年)	63.2	17.6	16.2	2.9
6	ザ・ベストテン (TBS 系列; 1978年～1989年)	19.9	11.8	33.1	35.3
7	ザ・トップテン (日本テレビ系列; 1981年～1986年)	17.6	14.7	35.3	32.4
8	ヤングスタジオ 101 (NHK; 1986年～1988年)	71.3	17.6	10.3	0.7
9	歌のトップテン (日本テレビ系列; 1986年～1990年)	27.2	13.2	39.7	19.9
10	ミュージックステーション (テレビ朝日系列; 1986年～)	8.1	8.8	52.2	30.9
11	ポップジャム (NHK; 1993年～2007年)	19.1	28.7	41.2	11.0
12	NHK 歌謡コンサート (NHK; 1993年～)	49.3	40.4	10.3	0.0
13	HEY!HEY!HEY!MUSIC CHAMP (フジテレビ系列; 1994年～)	5.9	9.6	49.3	35.3
14	速報!歌の大辞テン (日本テレビ系列; 1996年～2005年)	17.6	29.4	40.4	12.5
15	うたばん (TBS 系列; 1996年～2010年)	11.0	25.0	52.2	11.8



●表 7-1-4 音楽番組の記憶 (40代男性)

	知らない／ 覚えていない	ほとんど見てい なかった(いない)	ときどき見て いた(いる)	よく見ていた (いる)
1 ザ・ヒットパレード (フジテレビ系列; 1959年～1970年)	40.4	25.0	25.0	9.6
2 歌のグラランド・ショー (NHK; 1964年～1968年)	75.0	22.8	2.2	0.0
3 MUSIC FAIR 21 (フジテレビ系列, 1964年～)	19.1	30.9	43.4	6.6
4 夜のヒットスタジオ (フジテレビ系列; 1968～1990年)	5.1	25.0	44.9	25.0
5 レッツゴーヤング (NHK; 1974年～1986年)	10.3	41.9	33.1	14.7
6 ザ・ベストテン (TBS 系列; 1978年～1989年)	3.7	11.8	27.9	56.6
7 ザ・トップテン (日本テレビ系列; 1981年～1986年)	1.5	11.8	43.4	43.4
8 ヤングスタジオ 101 (NHK; 1986年～1988年)	35.3	46.3	16.2	2.2
9 歌のトップテン (日本テレビ系列; 1986年～1990年)	15.4	22.1	36.8	25.7
10 ミュージックステーション (テレビ朝日系列; 1986年～)	2.9	27.9	53.7	15.4
11 ポップジャム (NHK; 1993年～2007年)	17.6	49.3	30.9	2.2
12 NHK 歌謡コンサート (NHK; 1993年～)	27.9	60.3	9.6	2.2
13 HEY!HEY!HEY!MUSIC CHAMP (フジテレビ系列; 1994年～)	8.8	36.8	44.9	9.6
14 速報!歌の大辞テン (日本テレビ系列; 1996年～2005年)	20.6	44.1	23.5	11.8
15 うたばん (TBS 系列; 1996年～2010年)	10.3	46.3	33.8	9.6

●表 7-2-4 音楽番組の記憶 (40代女性)

	知らない／ 覚えていない	ほとんど見てい なかった(いない)	ときどき見て いた(いる)	よく見ていた (いる)
1 ザ・ヒットパレード (フジテレビ系列; 1959年～1970年)	49.3	25.7	15.4	9.6
2 歌のグラランド・ショー (NHK; 1964年～1968年)	88.2	8.8	2.9	0.0
3 MUSIC FAIR 21 (フジテレビ系列, 1964年～)	15.4	30.1	42.6	11.8
4 夜のヒットスタジオ (フジテレビ系列; 1968～1990年)	4.4	12.5	39.0	44.1
5 レッツゴーヤング (NHK; 1974年～1986年)	13.2	23.5	30.9	32.4
6 ザ・ベストテン (TBS 系列; 1978年～1989年)	2.2	5.1	27.2	65.4
7 ザ・トップテン (日本テレビ系列; 1981年～1986年)	2.9	7.4	29.4	60.3
8 ヤングスタジオ 101 (NHK; 1986年～1988年)	40.4	32.4	18.4	8.8
9 歌のトップテン (日本テレビ系列; 1986年～1990年)	13.2	13.2	34.6	39.0
10 ミュージックステーション (テレビ朝日系列; 1986年～)	5.1	22.8	40.4	31.6
11 ポップジャム (NHK; 1993年～2007年)	26.5	39.7	27.9	5.9
12 NHK 歌謡コンサート (NHK; 1993年～)	33.8	54.4	10.3	1.5
13 HEY!HEY!HEY!MUSIC CHAMP (フジテレビ系列; 1994年～)	12.5	26.5	44.9	16.2
14 速報!歌の大辞テン (日本テレビ系列; 1996年～2005年)	18.4	36.8	31.6	13.2
15 うたばん (TBS 系列; 1996年～2010年)	12.5	33.1	43.4	11.0

●表 7-1-5 音楽番組の記憶 (50 代男性)

		知らない／ 覚えていない	ほとんど見てい なかった(いない)	ときどき見て いた(いる)	よく見ていた (いる)
1	ザ・ヒットパレード (フジテレビ系列; 1959年～1970年)	10.6	25.8	41.7	22.0
2	歌のグラランド・ショー (NHK; 1964年～1968年)	37.9	47.0	12.1	3.0
3	MUSIC FAIR 21 (フジテレビ系列, 1964年～)	18.2	25.0	41.7	15.2
4	夜のヒットスタジオ (フジテレビ系列; 1968～1990年)	4.5	25.8	40.2	29.5
5	レッツゴーヤング (NHK; 1974年～1986年)	15.9	42.4	28.8	12.9
6	ザ・ベストテン (TBS 系列; 1978年～1989年)	4.5	15.2	34.1	46.2
7	ザ・トップテン (日本テレビ系列; 1981年～1986年)	8.3	26.5	33.3	31.8
8	ヤングスタジオ 101 (NHK; 1986年～1988年)	27.3	48.5	15.9	8.3
9	歌のトップテン (日本テレビ系列; 1986年～1990年)	17.4	37.1	35.6	9.8
10	ミュージックステーション (テレビ朝日系列; 1986年～)	7.6	37.9	44.7	9.8
11	ポップジャム (NHK; 1993年～2007年)	37.9	53.0	7.6	1.5
12	NHK 歌謡コンサート (NHK; 1993年～)	32.6	51.5	13.6	2.3
13	HEY!HEY!HEY!MUSIC CHAMP (フジテレビ系列; 1994年～)	20.5	51.5	22.7	5.3
14	速報!歌の大辞テン (日本テレビ系列; 1996年～2005年)	31.8	47.7	16.7	3.8
15	うたばん (TBS 系列; 1996年～2010年)	25.0	46.2	22.7	6.1

●表 7-2-5 音楽番組の記憶 (50 代女性)

		知らない／ 覚えていない	ほとんど見てい なかった(いない)	ときどき見て いた(いる)	よく見ていた (いる)
1	ザ・ヒットパレード (フジテレビ系列; 1959年～1970年)	17.4	18.9	31.1	32.6
2	歌のグラランド・ショー (NHK; 1964年～1968年)	59.8	26.5	9.8	3.8
3	MUSIC FAIR 21 (フジテレビ系列, 1964年～)	13.6	23.5	45.5	17.4
4	夜のヒットスタジオ (フジテレビ系列; 1968～1990年)	3.0	9.8	34.8	52.3
5	レッツゴーヤング (NHK; 1974年～1986年)	8.3	19.7	42.4	29.5
6	ザ・ベストテン (TBS 系列; 1978年～1989年)	3.8	6.1	20.5	69.7
7	ザ・トップテン (日本テレビ系列; 1981年～1986年)	3.8	9.1	34.1	53.0
8	ヤングスタジオ 101 (NHK; 1986年～1988年)	20.5	28.0	34.1	17.4
9	歌のトップテン (日本テレビ系列; 1986年～1990年)	12.9	16.7	35.6	34.8
10	ミュージックステーション (テレビ朝日系列; 1986年～)	4.5	18.2	48.5	28.8
11	ポップジャム (NHK; 1993年～2007年)	30.3	47.7	18.9	3.0
12	NHK 歌謡コンサート (NHK; 1993年～)	24.2	56.1	15.9	3.8
13	HEY!HEY!HEY!MUSIC CHAMP (フジテレビ系列; 1994年～)	16.7	29.5	41.7	12.1
14	速報!歌の大辞テン (日本テレビ系列; 1996年～2005年)	27.3	33.3	28.8	10.6
15	うたばん (TBS 系列; 1996年～2010年)	14.4	34.8	35.6	15.2



●表 7-1-6 音楽番組の記憶 (60代男性)

	知らない／ 覚えていない	ほとんど見てい なかった(いない)	ときどき見て いた(いる)	よく見ていた (いる)	
1	ザ・ヒットパレード (フジテレビ系列; 1959年～1970年)	6.1	18.9	41.7	33.3
2	歌のグランド・ショー (NHK; 1964年～1968年)	14.4	40.2	32.6	12.9
3	MUSIC FAIR 21 (フジテレビ系列, 1964年～)	9.8	32.6	41.7	15.9
4	夜のヒットスタジオ (フジテレビ系列; 1968～1990年)	4.5	17.4	44.7	33.3
5	レッツゴーヤング (NHK; 1974年～1986年)	15.9	46.2	28.8	9.1
6	ザ・ベストテン (TBS 系列; 1978年～1989年)	4.5	22.7	49.2	23.5
7	ザ・トップテン (日本テレビ系列; 1981年～1986年)	6.1	34.8	42.4	16.7
8	ヤングスタジオ 101 (NHK; 1986年～1988年)	17.4	53.8	25.0	3.8
9	歌のトップテン (日本テレビ系列; 1986年～1990年)	12.9	37.1	40.9	9.1
10	ミュージックステーション (テレビ朝日系列; 1986年～)	11.4	34.8	41.7	12.1
11	ポップジャム (NHK; 1993年～2007年)	34.8	49.2	15.2	0.8
12	NHK 歌謡コンサート (NHK; 1993年～)	13.6	36.4	35.6	14.4
13	HEY!HEY!HEY!MUSIC CHAMP (フジテレビ系列; 1994年～)	34.1	46.2	18.9	0.8
14	速報! 歌の大辞テン (日本テレビ系列; 1996年～2005年)	39.4	42.4	18.2	0.0
15	うたばん (TBS 系列; 1996年～2010年)	31.8	47.0	21.2	0.0

●表 7-2-6 音楽番組の記憶 (60代女性)

	知らない／ 覚えていない	ほとんど見てい なかった(いない)	ときどき見て いた(いる)	よく見ていた (いる)	
1	ザ・ヒットパレード (フジテレビ系列; 1959年～1970年)	8.3	16.7	43.9	31.1
2	歌のグランド・ショー (NHK; 1964年～1968年)	22.0	30.3	37.9	9.8
3	MUSIC FAIR 21 (フジテレビ系列, 1964年～)	15.9	23.5	43.2	17.4
4	夜のヒットスタジオ (フジテレビ系列; 1968～1990年)	7.6	18.2	45.5	28.8
5	レッツゴーヤング (NHK; 1974年～1986年)	15.2	45.5	32.6	6.8
6	ザ・ベストテン (TBS 系列; 1978年～1989年)	6.1	21.2	38.6	34.1
7	ザ・トップテン (日本テレビ系列; 1981年～1986年)	11.4	31.8	36.4	20.5
8	ヤングスタジオ 101 (NHK; 1986年～1988年)	21.2	50.0	25.0	3.8
9	歌のトップテン (日本テレビ系列; 1986年～1990年)	16.7	36.4	31.8	15.2
10	ミュージックステーション (テレビ朝日系列; 1986年～)	10.6	31.1	43.2	15.2
11	ポップジャム (NHK; 1993年～2007年)	32.6	50.8	15.2	1.5
12	NHK 歌謡コンサート (NHK; 1993年～)	12.1	50.0	25.0	12.9
13	HEY!HEY!HEY!MUSIC CHAMP (フジテレビ系列; 1994年～)	28.0	45.5	25.0	1.5
14	速報! 歌の大辞テン (日本テレビ系列; 1996年～2005年)	36.4	39.4	21.2	3.0
15	うたばん (TBS 系列; 1996年～2010年)	31.1	41.7	23.5	3.8

供に特化した最近の音楽番組の視聴率が高く、その傾向は男性よりも女性に顕著であった。30代になると、20代までに挙げられた番組に加えて、「ザ・ベストテン」、「ザ・トップテン」、「夜のヒットスタジオ」といった1980年代の番組の視聴率が高くなり、女性の方がより顕著であった。40代になると、30代までとほぼ同様であったが、全体的に視聴率は30代よりも高くなる傾向が認められた。50代になると、男女とも「ザ・ヒットパレード」といった1950～1970年代の番組から「ザ・ベストテン」などの1980年代の番組の視聴率が高かったが、女性のみ、最近の番組も視聴している傾向が認められた。60代では、男女とも「ザ・ヒットパレード」や「夜のヒットスタジオ」を中心として、1960～1980年代の番組は視聴していたが、最近の番組はほとんど知らないか、視聴していなかった。

総括すると、どの年代も、自身が青年期のころに放送されていた音楽番組の認知率・視聴率が高く、テレビが提供した集合的記憶にもバンプが生起するという小城ほか（2011；2010）の指摘を支持する結果となった。全体として、どの年代においても、男性よりも女性の方が音楽番組に対する関与が高いことは共通しているが、年代差は顕著に見られた。特に40代男性の「ザ・ベストテン」、40代女性と50代女性の「ザ・ベストテン」、「ザ・トップテン」、50代女性の「夜のヒットスタジオ」においては、それぞれ「よく見ていた」と回答する割合が52.3%～69.7%に上り、突出した強い関与が見られる。前述のスター・アイドルの集合的記憶の結果と合わせて考えると、40代～50代においては、「夜のヒットスタジオ」、「ザ・ベストテン」、「ザ・トップテン」に代表される1980年代の音楽番組が、「山口百恵」や、「ザ・タイガース」、「キャンディーズ」といった当時のスター・アイドルの集合的記憶を強固に構築していたと推測される。一方、10代・20代の若年層においては、「AKB48」の人気の高いものの、その関与の強さは中高年層における「山口百恵」や「ザ・タイガース」などには遠く及ばず、2000年以降の音楽番組の減少や視聴率の低さと直結していると考えられる。なお、中高年層の中でも、50代女性においてのみ、最近の音楽番組の視聴率とともに「モーニング娘。」の人気の高いことは、冬ソナブームを機に顕在化した中高年女性の「若さ志向性」（株式会社ワコールホールディングス IR 広報室, 2008；島村, 2007）を示唆している。

▶ 全体的考察

本報告では、国内外の社会的出来事、音楽番組、アイドルの集合的記憶と時間的展望の関連について分析を行った。その結果、これまでの小城ほか（2010；2011）の研究と同じく、どの年代においても、自身が青年期に体験した出来事や、その時代に流行していた番組・スター・アイドルに対して関与が強く、バンプ現象が認められた。しかしながら、その関与の程度や、時間的展望との関連においては、いくつか興味深い点がある。

第1に、社会的出来事に対しては、バンプの大きさ（関与度）自体には、顕著な年代差や性差は認められなかった。すなわち、どの年代においても、また、男女にかかわらず、それぞれが青年期のときに体験した社会的出来事に対して認知率が高かった。このことは、社会的出来事の記憶においては、テレビの映像が繰り返されることで後世にも疑似的な記憶を構築したり、記憶を強化したりする側面はあるものの、テレビ視聴そのものによって規定されるというよりは、映像の衝撃度や、その出来事に関してパーソナル・ネットワークで共有した体験が集合的記憶を構築している可能性がある（小城ほか, 2011）ことと整合的である。一方、音楽番組やスター・アイドルにおいては、バンプの大きさに年代差と性差が見られた。すなわち、テレビ全盛期の1970～1980年代に青年期を迎えていた現在の40代・50代において、その当時に放送されていた「夜のヒットスタジオ」、「ザ・ベストテン」、「ザ・トップテン」といった音楽番組に対する関与が突出して高く、また、それ

らの音楽番組を通じて人気を博していた「山口百恵」、「ザ・タイガース」、「キャンディーズ」といったスター・アイドルへの関与がきわめて強かったが、10代・20代の若年層になると、そこまで強く関与する番組やスター・アイドルは存在しておらず、世代全体で共有する集合的記憶が希薄であることが明らかになった。その時代のスター・アイドルは、「テレビ番組」の共有によって集合的記憶を構築されているため、テレビ全体の視聴率の低下や、多チャンネル化、メディア媒体の多様化と直結していると推測される。また、どの年代も、男性よりも女性の方が、関与が強い傾向が見られたことから、スター・アイドルの人気は、女性ファンの支持が大きいといえる。

近年、30～50代を主なターゲットに、1970～1980年代のテレビ番組やスター・アイドルを再び取り上げる「リバイバル現象」が多く見られるが、これは、この世代全体が強固に共有する集合的記憶に依存したものであり、いわば、過去の遺産を使い回している状態である。今後、現在の10代～20代が実年齢に上がってきたときには、世代で共有する集合的記憶が希薄であるため、このような「リバイバル現象」は生じにくいと考えられる。

第2に、先行研究では、一般に高齢になるほど、将来展望が狭くなり、過去志向が強くなると指摘されているが、本研究においては、若年層においても、インターネットを含めたマス・メディア接触が低く、情報に無関心な消極群は存在しており、他方、高年層においても、未来への展望を持ち、あらゆるマス・メディアを使いこなして、社会に対する関心の高い群も存在しており、また、「過去受容」に年齢差が見られないなど、時間的展望に対する志向性は、年代差よりも個人差の方が大きいことが示された。このことは、たとえば、中高年女性の「若さ志向」（株式会社ワコールホールディングス IR 広報室、2008；島村、2007）とも符合する。これらのことから、小城ほか（2011）が指摘している年代差と世代差に加えて、個人差も丁寧に分離して分析を行う必要がある。

第3に、社会的出来事の集合的記憶と時間的展望との関連は、どの年代においても、消極群の関心が薄いこと、アクティブ群と過去志向群は過去から現在に至るまで幅広い時代の社会的出来事に興味があること、現在・未来志向群の関心は最近の社会的出来事に限定されること、その傾向は女性よりも男性に顕著であることが共通しており、顕著な年代差は見られなかった。50代・60代になると、全体的にこの傾向が低くなるが、高年層においては、すべての社会的出来事の認知率が高いためと考えられる。

一方、スター・アイドルに対する好意と時間的展望との関連は、「キャンディーズ」と「SMAP」の事例に限定されるため、一般化は難しいが、アイデンティティの再構築が課題となっている年代にとっては、「過去受容」がスター・アイドルへの好意を規定しているようである。ところが、高年層においては、「過去受容」ではなく、「目標志向性」や「時間の有効活用」が規定因となっていることは、時間的展望の発達の観点から興味深い知見である。

●引用文献

- 藤井知昭、高橋昭弘（1991）現代と音楽 東京書籍
稲増龍夫（1989）アイドル工学 筑摩書房
稲増龍夫（2003）パンドラのメディアーテレビは時代をどう変えたのか 筑摩書房
市川孝一（2002）人気者の社会心理史 学陽書房
株式会社ワコールホールディングス IR 広報室（2008）なぜ見えない下着にこだわるのか 女性の下着へのこだわりと身体意識に関する調査 <http://www.cocoros.jp/data/pdf/cocoros/report/C-R-3.pdf>（2011年12月2日）
加藤芳孝（2007）テレビメディア進化論 日新報道
小城英子・萩原 滋・村山 陽・大坪寛子・渋谷明子・志岐裕子（2010）集合的記憶とテレビーウェブ・モニター調査（2009年2月）の報告(2)ー 慶応義塾大学メディア・コミュニケーション研究所紀要 60, 29-47.
小城英子・萩原 滋・テーシャオープン・上瀬由美子・李 光鎬・渋谷明子（2011）外国に関する集合的記憶とテレビーウェブ・モニター調査（2010年2月）の報告(3)ー 慶応義塾大学メディア・コミュニケーション研究所紀要 61, 127-148.

- Lewin 末永俊郎（訳）（1954）時間的展望とモラール K.Lewin 社会的葛藤の解決 東京創元社
- 南田勝也, 辻泉（2008）文化社会学の視座－のめりこむメディア社会とそこにある日常の文化 ミネルヴァ書房
- O'Connor, M. G., Sieggreen, M. A., Bachna, K., Kaplan, B., Cermak, L. S., & Ransil, B. J. (2000) Long-term retention of transient news event. *Journal of the International Neuropsychological Society*, **6**, 44-51.
- 小川博司（1993）メディア時代の音楽と社会 音楽之友社
- 小川博司（1988）音楽する社会 勁草書房
- 小川博司・小田原敏・栗谷佳司・小泉恭子・葉口英子・増田聡（2005）メディア時代の広告と音楽－変容するCMと音楽化社会 新曜社
- 岡本祐子（2004）よくわかる 発達心理学 ミネルヴァ書房 142-143
- Rubin, D.C., Wetzler, A.E., & Nebes, R.D.(1986) Autobiographical memory across the lifespan. In D.C. Rubin(Ed.), *Autobiographical memory*. Cambridge University Press. pp.202-221.
- 佐田一彦（1983）テレビ輸入番組 川竹和夫（編著）テレビのなかの外国文化 NHK 出版 pp.24-54.
- 佐藤浩一（2008）自伝的記憶研究の方法と収束の妥当性 佐藤浩一・越智啓太・下島裕美（編）自伝的記憶の心理学 北大路書房 pp.2-18.
- 島村麻里（2007）ロマンチックウイルス 集英社
- 白井 利明（1994）時間的展望体験尺度の作成に関する研究 心理学研究 **65**, 54-60.
- 都筑 学・白井利明（2007）時間的展望研究ガイドブック ナカニシヤ出版
- 都筑 学（1982）時間的展望に関する文献的研究 教育心理学研究, **30**, 73-86

- 小城英子（聖心女子大学文学部専任講師）
- 萩原 滋（慶應義塾大学メディア・コミュニケーション研究所教授）
- 渋谷明子（慶應義塾大学メディア・コミュニケーション研究所研究員）
- 志岐裕子（長崎純心大学人文学部助教）
- 李 光鎬（慶應義塾大学文学部教授）
- 上瀬由美子（立正大学心理学部教授）